

「スペイン語第Ⅲ」「スペイン語第Ⅳ」講座番号一覧表

レギュラーコース中級（2年生）

本書「第8 スペイン語の履修について（2年生）」、および各授業科目の講義要綱をよく読んだ上で、選択する授業科目を決めてください。担当者が同じでも授業内容は異なりますので、間違えないようにしてください。スペイン語第Ⅲは平易なレベル（原則SとAはつきません）、スペイン語第Ⅳは通常レベルの授業です。

A群

講座番号	科目名	担当者	履修者定員	曜日時限
101	スペイン語第Ⅲ	浜田 和範	38	月1
102	//	渡辺 暁	38	火5
103	スペイン語第Ⅳ	工藤 由美	38	月4
104	//	伊香 祝子	38	月4
105	//	折井 善果	38	火1
106	//	浜田 和範	38	火5
107	//	高際 裕哉	38	火4
108	//	渡辺 暁	38	火4
109	//	杉下由紀子	38	火4
110	//	高際 裕哉	38	火5
111	//	伊香 祝子	38	木4
112	//	岡本 年正	38	金3
113	//	アルバレス	26	木1
114	//	ドメネック	26	金2

B群

講座番号	科目名	担当者	履修者定員	曜日時限
201	スペイン語第Ⅲ	工藤 由美	38	月5
202	//	大場 樹精	38	月4
203	スペイン語第Ⅳ	金谷 重朗	38	火2
204	//	渡辺 裕木	38	水3
205	//	牧野 真也	38	水3
206	//	仲道 慎治	38	水5
207	//	大場 樹精	38	木2
208	//	藤本 愛	38	木2
209	//	荻野 恵	38	金4
210	//	和田 杏子	38	金4
211	//	牧野 真也	26	水4
212	//	ヤマシロ	26	木5
213	//	ロドリゲス	26	金1
214	//	ロドリゲス	26	金2

インテンシブコース中級(2年生)

スペイン語

スペイン語第Ⅲ(A群)

スペイン語

スペイン語第Ⅲ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅲ 1単位(秋学期)

スペイン語各駅停車

春学期・秋学期:月1

浜田 和範

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現在までに至るスペイン語の歴史を扱った講読教材を用い、初級文法の定着を目指す。文法・読解・聴解に加え、テキストの内容に基づいた活動を通じて、言語活動それ自体を考察する。

授業の計画:

春学期

- 01 インTRODクシヨN
 - 02 疑問詞、関係詞、接続詞
 - 03 直説法現在の規則活用、目的格人称代名詞
 - 04 直説法現在の不規則活用
 - 05 再帰動詞
 - 06 再帰動詞
 - 07 過去分詞、受身文、直説法現在完了
 - 08 過去分詞、受身文、直説法現在完了
 - 09 直説法点過去
 - 10 直説法点過去
 - 11 直説法線過去、現在分詞
 - 12 直説法線過去、現在分詞
 - 13 直説法点過去と線過去の用法の違い
 - 14 総括および試験
- その他 課題・レポート

秋学期

- 01 直説法過去完了
 - 02 直説法未来・未来完了
 - 03 直説法未来・未来完了
 - 04 命令文 I
 - 05 接続法現在 I
 - 06 接続法現在 I
 - 07 接続法現在 II
 - 08 接続法現在 II
 - 09 接続法過去、独立文
 - 10 接続法過去、独立文
 - 11 命令文 II、直説法過去未来
 - 12 命令文 II、直説法過去未来
 - 13 過去未来完了、接続法現在完了・過去完了、条件文
 - 14 総括および試験
- その他 課題・レポート

成績評価方法:

授業への参加(宿題・活動) 20%

各課ごとの小テスト 30%

期末試験 50%

テキスト(教科書):

中川節子ほか著『スペイン語とことば El español y la aventura de las lenguas』三修社、2019年 ISBN: 978-4-384-42017-3

担当教員から履修者へのコメント:

各課が終わった段階で小テストがある関係上、語彙や文法事項をコンスタントかつ着実に吸収していくことが求められる。

遅刻2回で欠席1回、また宿題をこなさない者は欠席扱いとみなす。欠席回数が授業回数の3分の1を超えた者は、単位取得の資格を失うものとする。

講師の指示ないしは許可がある場合を除き、通信機能を備えた電子端末の使用は禁止する。

質問・相談:

授業前後に随時受け付ける。

スペイン語第Ⅲ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅲ 1単位(秋学期)

各駅停車スペイン語講読
春学期・秋学期: 火5

渡辺 暁

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期に文法を復習したあと、秋学期にスペイン語の小説をゆっくりと丁寧に読んでいきます。(もし復習が早めに終われば、その時点で小説の講読に入ります。)

ただし、全ての授業をオンライン(Zoomと課題の組み合わせ)で行った2020/2021年度は、文法の復習が春学期には終わらず、もう少しゆっくりのペースとなってしまいました。今年度はその反省を生かし、もう少しペースを上げ、授業を進める予定ですが、計画より授業の進捗が遅くなる可能性がある、というのは、ご理解いただけたらと思います。

2022年度は対面授業が復活しますが、授業の半分はオンラインでやるのが可能ですので、この授業でもオンラインの良さを生かしていくような形を考えています。例えば、文法の復習については、動画を作成し、みなさんが見直せるようにしておけば、たまたまなにかの理由で授業中に集中できなくても、きちんと復習ができていけるかな、という気がしています。また、ZOOMでの双方向授業は、ゲストを呼んだりするときには本当に素晴らしいですね。そしてもちろん対面授業の回は、せっかくですので、対面授業ならではの映像を使った授業、なども積極的に行っていけたらと思っています。そのような感じで、色々組み合わせながら、楽しくスペイン語を勉強していけたらと思っています。

なおこの授業は、実質的に通年の授業ですので、秋学期のみ単位が必要な人であっても、留学から学期中に帰国した、などの特殊な場合をのぞき、春学期から授業に出席することを、教える側としては強く希望します。もちろんそうした希望をわかっていて、制度は制度なので春学期は単位にならないから出席しない、という方もいらっしゃるでしょうが、その場合は春学期の文法のテストを11月半ば頃までに受けて頂くと思っています。

講読の候補は今のところ二つあります。一つはこれまでこの授業で使ってきた、メキシコ系アメリカ人の作家、サンドラ・シスネロスが書いた「マンゴー通りの家」という小説、もう一つは元々日本語で書かれた、*La Jirafa Africana*という本です。以下に簡単な説明をつけておきます。

「マンゴー通り」

元々英語で書かれ1984年に発表されたこの本は、メキシコ系アメリカ人、ひいてはアメリカのエスニック・マイノリティによる文学作品、という必ず名前が出てくるような有名な作品ですが、この授業では、この本のスペイン語版を使います。メキシコの女流作家、エレナ・ポニャトフスカが翻訳した名訳です。西和辞典をたくさん引きながら、ゆっくり読んでいきたいと思っています。

「Jirafa Africana /ぼくはアフリカにすむキリンといます」

最近(2018年12月)朝日新聞で取り上げられていたのを見て、この授業にいいかも、と、この本のことを思い出しました。アフリカに住むキリンが、南極に住むペンギンと文通する、という、ちょっと不思議な設定の児童小説ですが、とても奥が深くまた最近さまざまな社会的なコンテキストの中で再評価されているとのことですので、それについて考えてみるのもいいかな、と思いました。スペイン語としてはおそらくこちらの方がやさしく読めると思います。

テキストは、スペイン語第Ⅲを選択する皆さんにとっては、少し難しいものかもしれません。とはいえ、春学期の前半に時間をかけて文法の総復習をやり、また辞書をひいても意味をとるのが難しいかな、とこちらの方で判断した部分(たとえば動詞の活用形や女性形あるいは複数形の形容詞、そして(メキシコのスペイン語でよく出てくる)接尾辞がついた名詞など)については、事前にきちんと解説をしますので、あまりよけいな心配をせず、落ち着いて読み進めていってもらえると思います。もちろん、辞書を引いても

わからない場合は、私の方に声をかけてくれればヒントを差し上げます。最初は教員に話しかけるのは緊張するかもしれませんが、気軽にものを聞けるような雰囲気を、少しずつ作り上げていきたいと思っています。

授業の計画:

【春学期】

- 第01回 イントロダクション、特に講読の課題となる二つの小説についての説明
 - 第02回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 1
 - 第03回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 2
 - 第04回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 3
 - 第05回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 4
 - 第06回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 5
 - 第07回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 6
 - 第08回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 7
 - 第09回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 8
 - 第10回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 9
 - 第11回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 10
 - 第12回 スペイン語文法の復習(それぞれの時制の意味、スペイン語独特の表現など) 11
 - 第13回 スペイン語文法の復習テストとテキストの紹介(進度によってずれる可能性あり)
 - 第14回 授業の総まとめ
- その他 「スペイン語文法をもう一度勉強してみて」というテーマの簡単なレポートを課す予定。

【秋学期】

- 第01回 イントロダクション
 - 第02回 既習文法の復習
 - 第03回 スペイン語小説 講読1、「接続法・命令法」(1)
 - 第04回 スペイン語小説 講読2、「接続法・命令法」(2)
 - 第05回 スペイン語小説 講読3、「接続法・命令法」(3)
 - 第06回 スペイン語小説 講読4、「接続法・命令法」(4)
 - 第07回 スペイン語小説 講読5
 - 第08回 スペイン語小説 講読6
 - 第09回 スペイン語小説 講読7
 - 第10回 スペイン語小説 講読8
 - 第11回 スペイン語小説 講読9
 - 第12回 スペイン語小説 講読10
 - 第13回 期末テストとその解説
 - 第14回 テストの返却(答案確認)と総まとめ
- その他 1年間を通して何を学んでくれたのか、についてのレポートを課す予定。

成績評価方法:

具体的な課題は授業中に発表しますが、単位取得の条件は、授業にきちんと出席し、参加し、その時間内にしっかり勉強してもらうこと、ということ、です。非常に単純なことですが、そうした姿勢が見えない方は、4年生で卒業がかかっているにもかかわらず、単位は差し上げられません。(事実、大変心苦しいことではありましたが、4年生を落とすこともありません)

なおこの授業は、制度的にはともかく実質的に通年の授業ですので、単位の都合で秋学期のみ履修が必要な人であっても、春学期から授業に出席することを、授業担当者として強く希望します(留学から学期中に帰国した、などの特殊な場合は、帰国して通えるようになった時点から参加して下さい)。卒業がかかる4年生もいらっしゃるでしょうが、その場合も絶対に春学期というプランクを作らない方が、秋学期の確実な単位の取得のために有利だと思います。

ただし、春学期のみ履修が必要な人は、秋学期は履修しなくてもけっこうです。その場合は春学期の終わりに「秋はもう出席しない」

旨をひとことおっしゃって頂けるとありがたいです。(けっこう学生さんのことを気にする教員なので。)

テキスト(教科書):

二宮哲『スペイン語文法の要点』(20 lecciones esenciales de gramática española) 朝日出版社(文法復習用に使います)

実際に読むことになるテキストについては、授業が始まってからご連絡します。

参考書:

スペイン語の文法についての参考書、そして「マンゴー通り」をやる場合には、メキシコ系アメリカ人やメキシコからアメリカへの移民についての研究など、本書の内容に関連しそうな文献について、授業中適宜言及していきます。また、辞書は必ず持参してください。なお、「マンゴー通り」はオリジナルの英語版からの日本語訳が出ていますし、「キリン」に至っては本が日本語ですが、授業期間中はご覧にならないで下さい(授業終了後に英語版や日本語版で読んでくださるの、もちろん大歓迎ですし、皆さんの先輩の中には、学年末のコメントシートに、(マンゴー通りの)英語版を買ったのでこれから読みます、と書いてくださった方も実際にいらっしゃいました。とてもうれしかったです)。

担当教員から履修者へのコメント:

*まず、授業の形態ですが、オンライン授業多めで(それでもきちんとしたわかりやすい授業をする自信があるので)行きます。また、最初の数回はオンライン授業で様子を見ます。

この授業を選択される方の中には、スペイン語に対して苦手意識のある学生さんも多いと思いますが、ゆっくり丁寧にテキストを読んでいくことで、そんな苦手意識を払拭して頂きたいと思っています。また、スペイン語第Ⅲなのに原書を扱うのですか?と思われる方もあるかと思いますが、若い人向けに書かれた(しかもよく練られた)読みやすい文章なので、読んでいくうちに愛着が湧いていくでしょうし、そしてもちろん、皆さんが理解して下さるまでゆっくり丁寧に説明していくので、落ち着いて学んでもらえると思います。とにかくこちらから皆さんの「苦手意識」を悪い意味で刺激するようなことは絶対しませんので、皆さんの方からも、わからないところは遠慮なく質問しながら、ついてきてください。

質問・相談:

授業の前後はもちろん、授業中もわからないことがあったら、いつでも話をさげぎって質問して下さってけっこうです。また、授業開始時にメールアドレスをお教えしますので、何かあったらいつでも連絡してください。

スペイン語第Ⅳ(A群)

スペイン語

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン人の先生にスペイン語を学ぼう

春学期・秋学期: 木1

アルバレス・クレスポ, ヘスス・カルロス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Los estudiantes aprenderán a desarrollar conversaciones sencillas y afianzarán sus conocimientos gramaticales mediante el uso del libro "Muy bien. Curso de español 2". El texto se complementará con la lectura y traducción de textos y con el repaso de conceptos gramaticales.

授業の計画:

【春学期】

第1回序

第2回第1課: UN NUEVO CURSO. APRENDEMOS.直説法現在、疑問詞、動詞+不定詞

第3回接続詞porqueと前置詞para、点過去1:規則活用(単数)、命令1: tú

第4回ACCIÓN EN CONTEXTO. 自己紹介、世界のスペイン語、昨年度にしたこと、ボゴタでのスペイン語のコース

第5回第2課. MI FAMILIA Y MIS AMIGOS. APRENDEMOS. 線過去1、動詞ser, tener, llevar、点過去2:規則活用、関係詞1: que

第6回ACCIÓN EN CONTEXTO. 私の家族、子供のころ、友人、様々な家族の形態

第7回第3課: MI BARRIO. APRENDEMOS. 線過去2、点過去3:不規則活用、頻度表現、線過去と点過去1、関係詞2: donde、命令2: tú

第8回ACCIÓN EN CONTEXTO. 以前の生活と今の生活、何でも近くにあった頃、地下鉄で、私の町

第9回第4課: MI TIEMPO LIBRE. APRENDEMOS. 時を表す表現1:過去、点過去4、線過去と点過去2、現在分詞

第10回ACCIÓN EN CONTEXTO. 自由時間、愛人との問題、映画に行きませんか、夜に出かける

第11回第5課: MI ÚLTIMO VIAJE. APRENDEMOS. 点過去5、

第12回線過去と点過去3

第13回命令3: tú、直接目的語と間接目的語、ACCIÓN EN CONTEXTO. ~へ旅行をした、旅行の計画、最近の休暇

第14回まとめ

その他 課題・レポート

【秋学期】

第1回第6課. ALIMENTACIÓN. APRENDEMOS. 現在完了、yaとtodavía、時を表す表現2:現在完了、過去完了

第2回ACCIÓN EN CONTEXTO. スペイン語圏フェア、バーベキューで、コロンビア人学生の食習慣

第3回第7課: CUANDO TERMINE LA UNIVERSIDAD, EMPEZARÉ A TRABAJAR. APRENDEMOS. 時を表す表現3:未来、未来、条件節1、接続法現在1:活用

第4回ACCIÓN EN CONTEXTO. 予定、仕事、私の将来、将来の計画

第5回第8課: ¿QUIERES VENIR A MI CASA? APRENDEMOS. 過去未来、命令4: tú、¿Qué+形容詞!、接続法現在2:活用、接続法現在3

第6回ACCIÓN EN CONTEXTO. うちに来ませんか、パーティで、家庭での社会生活

第7回第9課: ESTUDIAR EN EL EXTRANJERO. APRENDEMOS. 接続法現在4、命令5、無人称のse、

第8回ACCIÓN EN CONTEXTO. 日本人学生のスペイン生活、意見、私達の大学によるこそ

第9回第10課: CAMBIOS SOCIALES EN ESPAÑA E IBEROAMÉRICA. APRENDEMOS. 接続法現在5、aunque+直説法/接続法、大きな数字、派生語、関係詞3:直説法と接続法

第10回ACCIÓN EN CONTEXTO. 昔と今:スペインの変化、より良い社会へ

第11回第1課: DEPORTES. APRENDEMOS. 接続法過去、接続法現在と過去、条件節2

第12回 ACCIÓN EN CONTEXTO: スポーツと趣味、特別な3人のスポーツ選手、スポーツについて話そう

第13回第1課: TERMINAMOS EL CURSO. APRENDEMOS. 形容詞と所有詞強形、名詞の補語と不定語、形容詞、動詞、名詞の修飾語、接辞ísimo

第14回まとめ

その他 課題・レポート

成績評価方法:

En principio habrá dos exámenes, uno al final de cada semestre.

スペイン語での能力(文法・口頭能力など)

授業での興味を示すこと

課題の提出

テキスト(教科書):

『いいね! スペイン語2、¡MUY BIEN! CURSO DE ESPAÑOL 2』

Juan Carlos Moyano López, Carlos García Ruiz-Castillo, Yoshimi Hiroyasu 朝日出版社 2019年 ISBN:978-4-255-55106-7 C1087

定価(本体2,600円+税)

担当教員から履修者へのコメント:

Los estudiantes deberán preparar los deberes que se les asigne cada semana, sin retraso.

秋学期のみ単位が必要な学生が春学期から履修してもよい。

La mayoría de clases serán presenciales. En principio, y dependiendo de la situación del coronavirus, menos de la mitad de clases sería "online" u "on demand".

質問・相談:

Responderé preguntas y consultas a través del correo electrónico.

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語圏の子どもに関する文学

春学期・秋学期: 月4

伊香 祝子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

日本ではまだあまり知られていないスペイン語圏の児童文学を扱います。ラテンアメリカの作品が中心ですが、スペイン語で書かれた創作児童文学のほか、米国のスペイン語話者の子どもたちを取り巻く状況と児童文学、子どものための詩、先住民族のお話、新聞記事、評論まで幅広くとりあげ、子どものための文学を通じて、スペイン語圏の社会、文化への理解を深めることを目的としています。子どものための文学といっても、おとなの文学と変わらず、その背景となる社会を反映しています。自分なりの問題意識を持って授業に臨んでください。

文法事項については、昨年度学習していない接続法の練習から始めます。最終的に辞書をひきながらまとまった文章を読めるようになることが目標です。授業では、スペインで開発された読書メソッド「アニメーション」の手法(グループワークなどを通じて、テキストの読みを深めるというメソッド)、子どものための歌やクイズなどを取り入れ、より楽しくスペイン語を学ぶことを目指します。

授業の計画:

【春学期】

第1回 イントロダクション: これまでの読書経験をふりかえる。子どもにとって本とは何か?

第2回 接続法の学習(1)

第3回 接続法の学習(2)

第4回 命令表現の学習(1)

第5回 命令表現の学習(2)

第6回 スペイン語圏の児童文学の主な作家(1)

第7回 スペイン語圏の児童文学の主な作家(2)

第8回 米国のラティーンノについて

第9回 ラティーンノの子どもと本(1)

第10回 ラティーンノの子どもと本(2)

第11回 ラティーンノの子どもと本(3)

第12回 アニメーションを使ったアクティビティ

第13回 Historietaを読む(1)

第14回 Historietaを読む(2)、試験

その他 読書レポート、スペイン語作文

【秋学期】

第1回 スペイン語の子ども詩(1)

第2回 スペイン語の子ども詩(2)

第3回 スペイン語の子ども詩(3)

第4回 ラテンアメリカの先住民のおはなし(1)

第5回 ラテンアメリカの先住民のおはなし(2)

第6回 ラテンアメリカの先住民のおはなし(3)

第7回 ラテンアメリカの先住民のおはなし(4)

第8回 ラテンアメリカの創作児童文学(1)

第9回 ラテンアメリカの創作児童文学(2)

第10回 ラテンアメリカの創作児童文学(3)

第11回 ラテンアメリカの創作児童文学(4)

第12回 ラテンアメリカの創作児童文学(5)

第13回 ラテンアメリカの創作児童文学(6)

第14回 まとめ、期末試験・ふりかえり

その他 スペイン語での詩作、映画レポートなど

成績評価方法:

春学期・秋学期とも授業最終日に対面の筆記試験を行う予定です。成績評価は、出席(毎回の課題とクイズを含む)一60%、期末試験一40%程度の割合となります。

テキスト(教科書):

適宜ファイルを配布します。文法については、初級スペイン語のテキストのコピーを用意しますので、初回の授業で人数を確認します。

参考書:

A. ドルフマン『子どものメディアを読む』晶文社 1992年 ISBN978-4-794-96088-7

国立国会図書館遠隔研究「児童文学基礎講座: 児童文学とは何かというとても難しい問題」川端有子 https://www.youtube.com/playlist?list=PLXvKjMC1JnVtHViM8wg5_VmN04vO2IUFB

担当教員から履修者へのコメント:

課題、レポートに関しては、次回以降の授業で講評、解答例を提示します。テキストの予習の際には翻訳ツールなどを使ってかまいませんが、最終的には自分の頭で考えて、わからないところを授業の時までにはっきりさせておきましょう。1回の授業で進むテキストの予習時間は、およそ2~3時間程度とお考え下さい。

質問・相談:

講義時およびCanvas LMSを通じて受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

アルゼンチンの文化と社会の諸相

春学期・秋学期: 木4

伊香 祝子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、アルゼンチンという「別の社会」について知ること、自分たちの生きる社会を見るもう一つの視点をもつことを目的としています。前期は昨年度学習していない接続法の勉強から始めます。それと並行しながら、アルゼンチンについて書かれたテキスト(論説文やニュース記事など)を読みます。辞書を使って自分である程度まとまった文章を読めるようになることが目標です。オンラインの場合は、積極的にニュースなどの動画や音声教材も取り入れていきます。

授業の計画:

第1回 序/イントロダクション、接続法の学習(1)

第2回 接続法の学習(2)

第3回 命令表現(1)

第4回 命令表現(2)

第5回 アルゼンチンという領土の成り立ち

第6回 アルゼンチン人とはどのような人びとかー先住民、移民

第7回 アルゼンチン人とはどのような人びとかーアフリカ系の人びと他

第8回 アルゼンチンの音楽(1) タンゴ

第9回 宗教

第10回 軍政と人権(1)

第11回 軍政と人権(2)

第12回 アルゼンチンの映画(1)

第13回 アルゼンチンの映画(2)

第14回 ふりかえりと試験
その他 スペイン語作文、レポートの提出。

第15回 アルゼンチンの音楽(2) フォルクローレ～ロック
第16回 アルゼンチンの女性運動(1)
第17回 アルゼンチンの女性運動(2)
第18回 アルゼンチンのマンガ(Historietas)
第19回 サッカー
第20回 ディズニーとアルゼンチン
第21回 環境問題(1)
第22回 環境問題(2)
第23回 世界三大オペラ劇場ーコロソ劇場
第24回 先住民の人権(1)
第25回 先住民の人権(2)
第26回 性的マイノリティの人権(1)
第27回 性的マイノリティの人権(2)
第28回 ふりかえりと試験
その他 スペイン語作文、レポートの提出

成績評価方法:

春学期・秋学期とも授業最終日に対面の筆記試験を行う予定です。
成績評価は、出席(課題、クイズ等を含む)60%、期末試験40%程度の割合で考えています。

テキスト(教科書):

適宜、プリントまたはオンラインのファイルを使用する。

参考書:

乗浩子『教皇フランシスコ 南の世界から』平凡社新書 2019年
ISBN:978-4-582-85907-2 C0216

石田智恵『同定の政治、転覆する声 アルゼンチンの「失踪者」と日系人』春風社 2020年ISBN:978-4-86110-678-1 C0039

担当教員から履修者へのコメント:

課題に関しては、次回以降の授業で解答例を提示します。予習の際には翻訳ツールなどを使ってかまいませんが、最終的には自分の頭で考えて、わからないところを授業の時までにははっきりさせておきましょう。1回の授業で進むテキストの予習時間は、およそ2～3時間程度とお考え下さい。扱うテーマやテキストの順番は変更になる場合があります。

質問・相談:

授業内またはCanvas LMSを通じて受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

ペルーの歴史・社会・文化

春学期・秋学期:金3

岡本 年正

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ペルーの社会や文化、歴史に関する文献や記事、小説の講読、映画の観賞などを通して、スペイン語力(読解力や表現力等)を向上させるとともに、ペルー共和国についての理解を深めていくことを目的とします。

ペルーと聞くと、世界遺産のマチュピチュやナスカの地上絵、ペルー料理、インカ帝国等、日本においてもなじみの深いトピックを思い浮かべるのではないのでしょうか。また日本とのつながりであれば、南米で最初に国交を結び、南米への最初の集団移民が到着した国であることも忘れてはならないでしょう。

このようになじみあるトピックの他、ペルー国内の事象(政治にはじまり祭やスポーツ)や社会問題(先住民、貧富の格差、テロリズム、麻薬等)等、できる限りではありますが様々なトピックを取り上げ、ペルーの現状への理解を深めていきたいと考えます。

その一方で、2021年度のスペイン語第1、2で扱っていない、命令法と接続法に関しても前期授業で確認します。

授業の計画:

春学期

第1回:イントロダクションと履修者の関心の共有、命令法1

第2回:命令法2、接続法現在1

第3回:接続法現在2

第4回:接続法現在3、接続法現在完了

第5回:接続法過去、過去完了

第6回:ペルー概要

第7回:クスコ概要

第8回:地理概要

第9回:政治機構と経済状況

第10回:文化遺産と歴史①(プレインカ)

第11回:文化遺産と歴史②(インカ)

第12回:文化遺産と歴史③(植民地期以降)

第13回:歴史と現代ペルーの関係から

第14回:まとめと期末試験

その他:翻訳課題/テーマ別レポート

秋学期

第1回:イントロダクションと春学期の復習

第2回:社会問題①(テロリズム)

第3回:社会問題②(貧困)

第4回:映画「La teta asustada」(邦題『悲しみのミルク』)その解説①とスクリプト精読

第5回:映画「La teta asustada」(邦題『悲しみのミルク』)その解説②とスクリプト精読

第6回:アンデス高地の社会

第7回:先住民(信仰と祭り)

第8回:日系人と移民①(歴史)

第9回:日系人と移民②(社会・文化)

第10回:食文化(日系人と食)

第11回:アマゾン低地

第12回:ドキュメンタリー映画「Entre ollas y sueños」その解説①とスクリプト精読

第13回:ドキュメンタリー映画「Entre ollas y sueños」その解説②とスクリプト精読

第14回:まとめと期末試験

その他:翻訳課題/テーマ別レポート

成績評価方法:

翻訳課題の発表、期末試験、テーマに関するレポートから総合的に評価します。

テキスト(教科書):

適宜資料を配布します。

参考書:

網野徹哉『インカとスペイン 帝国の交錯』(興亡の世界史12) 講談社(2008年) ISBN:978-4062807128

友枝啓泰・染田秀藤編『アンデス文化を学ぶ人のために』世界思想社(1997年) ISBN:978-4790706571

増田義郎・柳田利夫『ペルー 太平洋とアンデスの国——近代史と日系社会』中央公論新社(1999年) ISBN:978-4120029646

柳田利夫『ペルーの和食——やわらかな多文化主義』慶応義塾大学出版会(2017年) ISBN:978-4766424188

Paerregaard, Karsten. (2009) Peruvians dispersed: A global ethnography of migration. Lexington Books. ISBN:978-0739118382

担当教員から履修者へのコメント:

本授業は対面で実施します。

大まかな題材のくくりはありますが、履修者の関心にも沿いながら講読等のトピックを選んでいきたいと考えます。よって、授業トピックの順番の入れ替えやトピック内容の拡大などの可能性があります。

講読するもののレベルは教科書的なものから難しいと考えられるエッセイや評論も含まれます。文法に関する細かい講読というよりは、大まかでも解釈をして文章の意味を考えることに重きがあります。講読は予習が前提となります。必ず辞書を持参してください。

質問・相談:

授業前後に質問を受けます。また授業中にわからないことがあれば、その都度質問をしてもらって構いません。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語圏の文化と社会(4技能総合)

春学期・秋学期:火1

折井 善果

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、スペイン語I,IIで習得した文法基礎を土台として、運用能力を高めるためのクラスです。スペインとイスパノアメリカにおける文化と社会についてのトピックを集め、読む・書く・聞く・話すのバランスに留意した授業を行っていきます。「外国語としてのス

スペイン語検定試験 (DELE) A2 レベルを確実なものとし、さらにその上を目指します。

なお、春学期の初めにはI,IIの復習を行い、秋学期の終わりには「接続法」という新しい文法項目を学びます。

授業の計画:

春学期

- 第1回 インTRODクシヨン, I, IIの復習 (1)
- 第2回 I, IIの復習 (2)
- 第3回 アートと文化 (1) Mon Laferte
- 第4回 アートと文化 (2) El Guernica de Picasso
- 第5回 社会とテクノロジー (1) Migrantes en el siglo XXI
- 第6回 社会とテクノロジー (2) Miami, la capital de América Latina
- 第7回 旅とスポーツ (1) Mochilelos
- 第8回 旅とスポーツ (2) El camino de Santiago
- 第9回 伝統と祭り (1) Día de muertos en México
- 第10回 伝統と祭り (2) Navidades con carácter latino
- 第11回 歴史 (1) España
- 第12回 歴史 (2) América del norte
- 第13回 歴史 (3) América central
- 第14回 歴史 (4) América del sur
- その他 総括・試験

秋学期

- 第1回 インTRODクシヨン, 春学期の復習
- 第2回 アートと文化(1) Penélope Cruz
- 第3回 アートと文化(2) Curiosidades del mundo hispanohablantes
- 第4回 社会とテクノロジー(1) Redes sociales
- 第5回 社会とテクノロジー(2) Youtube mató a la estrella de la televisión
- 第6回 旅とスポーツ(1) Pasión por el downhill
- 第7回 旅とスポーツ(2) Maravillas que hablan español
- 第8回 伝統と祭り(1) El origen de Flamenco
- 第9回 伝統と祭り(2) La noche de San Juan
- 第10回 歴史(1) El español en el mundo
- 第11回 接続法 (1)
- 第12回 接続法 (2)
- 第13回 接続法 (3)
- 第14回 接続法 (4)
- その他 総括・試験

成績評価方法:

授業内でのパフォーマンスと、対面授業の際に毎回行う小テストを合計して成績を判断します。

テキスト(教科書):

Carmen Aguirre et al. El mundo en español A2 (Madrid: Habla con Eñe, 2019).

上記教科書はデジタル版を担当者が一括購入し、後に代金を徴収することとします。受講者の人数によって異なりますが、各自の負担は1300円程度になる予定です。ダウンロード方法は第一回授業で指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・授業前に必ずCANVAS上でお知らせを参照してください。
- ・内容の順番は前後することがあります。

質問・相談:

メールにて受け付けます yorii[]keio.jp []の中に@を入れてください。

履修決定後の連絡はCANVAS経由のメールでお願いします。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

チリの社会・文化・歴史
春学期・秋学期: 月4

工藤 由美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

チリの社会・文化・歴史に関する文献、記事、またそれらに関する動画資料を通して、スペイン語力(読解力や表現力等)を向上させるとともに、チリ共和国についての理解を深めていくことを目的とする。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 インTRODクシヨンと履修者の関心の共有

- 第2回 チリ共和国の概要
- 第3回 地理・気候
- 第4回 歴史I: 独立以前
- 第5回 歴史II: 独立から現在まで
- 第6回 言語: チレニスモ
- 第7回 政治・経済
- 第8回 食文化
- 第9回 医療 I: 疾病構造
- 第10回 医療 II: 医療費
- 第11回 授業内試験・まとめ
- 第12回 テーマ学習 I: チリを調べる
- 第13回 テーマ学習 II: 調べたことを翻訳する
- 第14回 テーマ学習 III: 調べたことを発表する
- その他 翻訳課題

【秋学期】

- 第1回 インTRODクシヨン・音楽
- 第2回 社会問題I: 貧困①
- 第3回 社会問題 I: 貧困②
- 第4回 社会問題 II: 麻薬①
- 第5回 社会問題 II: 麻薬②
- 第6回 社会問題 III: 移民①
- 第7回 社会問題 III: 移民②
- 第8回 社会問題 IV: 先住民
- 第9回 社会問題 V: 教育①
- 第10回 社会問題 V: 教育②
- 第11回 授業内試験・まとめ
- 第12回 観光 I: バーチャル旅行プランの作成① テーマ設定・調べる・計画立案
- 第13回 観光 II: バーチャル旅行プランの作成② スペイン語発表原稿の作成
- 第14回 観光 III: バーチャル旅行プランの発表
- その他 翻訳課題

成績評価方法:

成績はテスト、提出課題、グループワーク、発表を総合的に評価する。なお、授業全体の4回以上の欠席は評価対象外とするので注意すること。

テキスト(教科書):

適宜、プリントを配布します。

参考書:

『チリを知るための60章』細野昭雄ほか編、明石書店(2019年) ISBN: 978-4750348582

『チリの歴史: 世界最長の国を歩んだ人びと』ハイメエイサギルレ(Jaime Eyzaguirre)、山本雅俊訳、新評論(1998年) ISBN: 978-4794803832

担当教員から履修者へのコメント:

- ・授業は対面実施を基本とし、オンラインによる授業回は各期3回程度の予定です。なお初回授業は対面で実施する予定です。(詳細は第1回の授業時にお伝えします。)
- ・毎回提示する教材と課題は翌週に解説を行いますので、必ず予習をしてきましょう。
- ・各回のテーマは履修者の関心に応じて変更する場合があります。

質問・相談:

- ・対面授業時は講義の前後に随時受け付けます。
- ・オンライン授業時は、原則、課題提出時に受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語で健康問題について考えよう
春学期・秋学期: 火4

杉下 由紀子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期前半は、接続法を中心に文法をひとつおとり学習します。その後、長文読解・リスニング・会話練習を通じて基礎文法の確認、語彙の強化、総合的コミュニケーション能力を高めます。言葉とともにスペイン語圏社会に関する知識を深めることを目的とします。現代社会は健康に関する情報があふれ、特に日本人はこの分野に関心が強いと思われます。一方、スペインや中南米ではどうでしょう

か。「健康」をキーワードに、食生活・スポーツ・医療福祉・政治など、さまざまな分野からスペイン語圏諸国のことを学び、日本と比較してみましょう。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 オリエンテーション、自己紹介、直説法の時制のまとめ
- 第2回 接続法現在
- 第3回 命令法
- 第4回 接続法過去
- 第5回 接続法現在完了、過去完了、条件文
- 第6回 接続法・命令法復習
- 第7回 中間試験
- 第8回 身体部位の語彙・慣用表現
- 第9回 迷信
- 第10回 旅行中の事故
- 第11回 感染対策
- 第12回 防災
- 第13回 期末試験、ふりかえり
- 第14回 夏の健康管理
- その他 課題

【秋学期】

- 第1回 スポーツ
- 第2回 中南米先住民の民間療法
- 第3回 幸福な国
- 第4回 チョコレートの歴史と効用
- 第5回 肥満と貧困
- 第6回 交通事情
- 第7回 治安
- 第8回 ITと健康
- 第9回 人工妊娠中絶
- 第10回 病院・薬局での会話
- 第11回 小話
- 第12回 期末試験、ふりかえり
- 第13回 履修生によるプレゼンテーション
- 第14回 履修生によるプレゼンテーション
- その他 課題

成績評価方法:

平常点(出席、授業への取り組み姿勢)、プレゼンテーション、課題、試験から総合的に評価。

テキスト(教科書):

Canvas LMSで資料配布

参考書:

- 西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
- 徳永詩織/愛場百合子『もやもやを解消! スペイン語文法ドリル』三修社
- 菅原昭江『極める! スペイン語の接続法ドリル』白水社 2016年
- 大島洋子・肥田章子『病気のときのスペイン語会話』学生社、2006年
- その他、講義中に適宜紹介。

担当教員から履修者へのコメント:

講読用テキストは事前にCanvas LMSで配布するので、必ず辞書や専門の事典で調べて内容を把握しておくこと。翻訳アプリは使用不可。和訳だけでなく、舞台となっている国や地域についても情報収集し、探究心を持って取り組んでください。自分の意見や感想を積極的に発言する姿勢に期待しています。授業はすべて対面で行い、対面が不可になった場合はZoomによるリアルタイム双方向式で行います。

質問・相談:

授業内容やスペイン語に関する質問は、できるだけ授業中にするか、Canvas LMSの「質問・コメント」へ投稿してください。

個人的な相談は、授業の前後に教室または教員室で対応します。対面でできない場合は、Canvas LMSで講師宛メッセージまたはメールで連絡してください。メールの場合、必ずkeio.jpのアカウントから件名に授業名を入れて送信すること。尚、個別対応には時間がかかる場合があります。

ysugis@keio.jp

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語圏の文学を楽しむ

春学期: 火5

高際 裕哉

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語で書かれた近現代文学(短編小説・詩)の読解を行う授業です。学部の方針として春学期半分は文法事項の学習に充てます。

それ以降は一回の授業を

①スペイン語圏の小説を日本語訳を通じて読む課題をこなす

②原語から文学作品をゆっくり楽しむ時間

の二つに分けて行おうと思っています。

文学は「言葉を使った芸術」総体のことで、言葉がメディアであるならなんでもありの世界です。芸術・アート全般の指示対象や語られる事柄がなんかわからないけど広いのとまったく同じで、文学も同じくらい幅が広いです。

読むことを通じて心を落ち着いた方向に整えてくれる作品もあれば、なんなら文学を使って現実をひっくり返そうとする殺気をはらんだものもあります。講師としては後者の方に惹かれていましたが、前者の方も年を重ねるにつれしみじみいいなと思っています。いずれにしても必要なのはまず作品を読むことです。日々の暮らしにかまけて「言葉を使った芸術」の読解行為に割く時間がなかなか持たないというのはいつの時代も変わらないかもしれません。講師自身も反省しています。授業時間を口実に、スペイン語で書かれた「言葉を使った芸術」を味わう時間を確保する、というのがこの授業の目的です。

具体的に今想定しているのは

①日本語訳を通じてスペイン語圏の小説・詩に触れ

(A)スペイン語圏の個別の文学作品が持つ前提条件を把握し、

(B)文学作品では何が行われているかを考え、形にしてみる(レポート課題)

ことと

②スペイン語の原語を通じて作品をゆっくり味わうことを通じて

(A) スペイン語の文法を活かして読解をしてみる

(B)スペイン語で読まないといけない喜びを味わう

(C)スペイン語に触れて日本語との交渉をする中でスペイン語と日本語の能力をそれぞれ成長させる

を併せて授業を進める、という形式です。

授業の計画:

春学期

第1回 イントロダクション(自己紹介と授業の進め方)

第2回 接続法の用法(1) 文法の確認①現在形

第3回 接続法の用法(2) 文法の確認②点過去

第4回 接続法の用法(3) 文法の確認③線過去と点過去

第5回 接続法の用法(4) 文法の確認④未来形と過去未来形

第6回 接続法のテスト・その1

第7回 接続法の用法(5) 読解1-1

第8回 接続法の用法(6) 読解1-2

第9回 接続法の用法(7) 読解1-3

第10回 接続法の用法(8) 読解1-4

第11回 接続法のテスト・その2

第12回 読解2-1

第13回 読解2-2

第14回 前期のまとめとテストかレポート

その他 課題とレポート提出

秋学期

第1回 読解3-1

第2回 読解3-2

第3回 読解3-3

第4回 読解3-4

第5回 テストと映画

第6回 読解4-1

第7回 読解4-2

第8回 読解4-3

第9回 読解4-4

- 第10回 テストと映画
- 第11回 読解5-1
- 第12回 読解5-2
- 第13回 読解5-3
- 第14回 テストとまとめ
- その他 課題とレポート提出

成績評価方法:

平常点(授業内の発言・翻訳の発表・意見の提示)40%、提出物:30%、授業内テスト30%。なお欠席は4回目で成績評価の対象から外れます。遅刻2回で1回欠席とカウントします。

テキスト(教科書):

春学期には以下の短編アンソロジーを準備しておいてください。
野谷文昭編訳、『20世紀ラテンアメリカ短篇選』(岩波書店、2019)ISBN: 9784003279311、文法内容に関しては受講生にプリントを配布することで換えようと思います。

読み物に関してはスペイン語のテキストはできる範囲で配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

他のスペイン語の授業でそうであったように、教室内では紙辞書か電子辞書を使用してください。スマホ・タブレット・PCの使用に際しては事前に講師と相談のうえで許可をとるか、必要な際に挙手をして申し出てください。予習に際しても紙辞書をアプリ化させた有料のもの以外は使わないように(授業中に説明をします)。翻訳アプリを使用したことが明らかになった場合、即刻成績評価の対象から外れます。

質問・相談:

授業前後に質問相談を受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語圏の文化芸術からジェンダー・階級・エスニシティについて考える
春学期・秋学期: 火4

高際 裕哉

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語圏における文化の諸相(映画、音楽、新聞)をジェンダー、階級、エスニシティのキーワードをもとに読み解くことを目的とした授業です。学部の方針として春学期半分は文法事項の学習に充てます。

ジェンダー・階級・エスニシティは個別問題を読み解く際に使える三つの概念装置で、隣接する用語もたくさんあるうえ、対象となる社会や対象が異なると三つの用語の指示対象・範囲が異なってきます。主に英語圏で問題化されてきたこれらの概念装置を、日本語圏やスペイン語圏を見るときにどのように異なりどのように扱えるか、いくつかのケースから読み取ってみるといのがこの授業の内容です。とはいえ語学の授業なので、様々なメディアから講師が文字情報に落としたスペイン語テキストを読解する、という形式で授業を進めます。

法学的・司法行政的立場からジェンダー・階級・エスニシティの問題に触れることも当然考えられます。民族・文化的な差異から攻撃対象が定まる犯罪・ヘイトクライム、ジェンダー的な差異から攻撃対象が定まるフェミサイドなど皆さんの頭にもよぎるだろう事件が残念ながら日本でも起こっているのは本当のことだし、その構造的問題を意識的にせよ無意識的にせよ抑圧・否認しようとする男性性の問題がおそらくこれらの問題の中には含まれています。皆がこれからサヴァイブしていく上で抜き差しならぬテーマなのではないでしょうか。この授業ではともかくスペイン語のテキストを読み、語学的な問題を少しずつクリアしながら読解する能力を養成し、日本語とスペイン語あるいは英語と交渉しながらこれらの問題について思考を巡らせられるようになる、というのがこの授業の到達目標です。

と、偉そうなことを言っておきながら講師自身は本年度からこの授業を組み立てるため、ある程度自転車操業でこの授業を行います。現在具体的に授業で教材化できるのは以下のテーマです(回数はあくまで目安だし受講者の興味関心に合わせてテーマは変える)。以下のテーマに講師が準備したテキストを読み進め、1/4が講義、1/2が読解、1/4がディスカッションもしくは発表という形式にします。

スペイン語圏はどのような世界か統計的に見る(4回); 南北アメリカ大陸と奴隷制(2回); ; スペイン1978憲法と複数の言語の権利(1回); 女性として生きること・家父長制とフェミサイド(4回); [春学期はこの辺りでいっばい。おそらく秋学期に持ち越し]ラテンアメリカにおける「新自由主義」あるいは『ショック・ドクトリン』(2回) 共同体と歌手・米国ラティノと複数の歌(5つ以上のケース); ディズニーの夢とスペイン語圏(2つ以上のケースでおそらく6回以上かかる); 日本語圏とラテンアメリカ(2回) 癒しの共同体あるいはスピリチュアリティとチカーナ・フェミニズム(2回)

授業の計画:

春学期 (あくまで暫定的な計画)

- 第1回 イントロダクション(自己紹介と授業の進め方)
- 第2回 接続法の用法(1) スペイン語圏の人口 数字の読み方①
- 第3回 接続法の用法(2) スペイン語圏とスペイン語話者の割合 数字の読み方②
- 第4回 接続法の用法(3) スペイン1978憲法と言語の権利 数字の読み方③
- 第5回 接続法の用法(4) スペインにおける言語の多様性とスペイン内戦
- 第6回 接続法のテスト・その1
- 第7回 接続法の用法(5) アメリカ合衆国とスペイン語 Chicano Batmanの映像①
- 第8回 接続法の用法(6) アメリカ合衆国とスペイン語 Chicano Batmanの映像②
- 第9回 接続法の用法(7) 南北アメリカ大陸と奴隷制(全体像)
- 第10回 接続法の用法(8) 南北アメリカ大陸と奴隷制(カリブ海)
- 第11回 接続法のテスト・その2
- 第12回 イスパノアメリカにおける家父長制とフェミサイド①
- 第13回 イスパノアメリカにおける家父長制とフェミサイド②
- 第14回 前期のまとめと振り返り
- その他レポート・課題提出

秋学期 (あくまで暫定的な計画)

- 第1回 ラテンアメリカにおける「新自由主義」あるいは『ショック・ドクトリン』
- 第2回 ラテンアメリカにおける「新自由主義」あるいは『ショック・ドクトリン』
- 第3回 共同体と歌手、Celia Cruz
- 第4回 共同体と歌手、Selena
- 第5回 共同体と歌手、Marc Anthony, Daddy Yankee, Romeo Santos
- 第6回 ディズニーの夢とスペイン語圏①(映画上映)
- 第7回 ディズニーの夢とスペイン語圏②(映画の聞き起こしと訳文チェック)
- 第8回 ディズニーの夢とスペイン語圏③(映画の聞き起こしと訳文チェック)
- 第9回 LGBTQのアンセムとスペインのドラッグ・ある歌の分析
- 第10回 癒しの共同体あるいはスピリチュアリティとチカーナ・フェミニズム①
- 第11回 癒しの共同体あるいはスピリチュアリティとチカーナ・フェミニズム②
- 第12回 日本語圏とラテンアメリカ日系人①
- 第13回 日本語圏とラテンアメリカ日系人②
- 第14回 前期のまとめとふりかえり
- その他レポート・課題提出

成績評価方法:

平常点(授業内の発言・翻訳の発表・意見の提示)20%、提出物:30%、授業内テスト50%。理由のない遅刻2回で1回欠席とカウントします。なお欠席は4回目で成績評価の対象から外れます。

テキスト(教科書):

文法内容に関しては受講生にプリントを配布することで換えようと思います。

読み物に関してはスペイン語のテキストを配布します。

参考書:

テーマが広いだけにリーディング・リストは適宜配布します。手ごろなところは

梁英聖、『レイシズムとは何か』(ちくま新書、2020) ISBN: 978-4-480-07353-2が最近読んだ堅実な本でした。

担当教員から履修者へのコメント:

他のスペイン語の授業でそうであったように、教室内では紙辞書か電子辞書を使用してください。スマホ・タブレット・PCの使用に際

しては事前に講師と相談のうえで許可をとるか、必要な際に挙手をして申し出てください。予習に際しても紙辞書をアプリ化させた有料のもの以外は使わないように(授業中に説明をします)。翻訳アプリを使用したことが明らかになった場合、即刻成績評価の対象から外します。

今年度から担当する授業なので、内容は随時変える可能性があります。文法事項で忘れていたポイントなどあれば初めのうちに復習しましょう。その分シラバスの講義・読解に相当する部分は後ろにずれていきます。

質問・相談:

授業前後に時間を取ります。連絡のこと。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン人の先生にスペイン語を学ぼう
春学期・秋学期: 金2

ドメネック・アロンソ, ホセ・イグナシオ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

言語を習得する目的はコミュニケーションにある。このクラスでは文法事項にこだわりすぎることなく、「コミュニケーションのできるスペイン語」を第一の目標として設定し、生徒参加型の実践中心の授業を行なう。

直説法現在形の基本を復習した後、以下の表現法、文法テーマを対象とする。現在完了形、未来形、Gustar動詞の用法、比較級、現在分詞、再帰動詞、接続法。これらのテーマに関する理解を容易かつ確実にし、さらに語彙を増やしスペイン文化への認識を深めるため、視聴覚教材を多用する。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回: 講義概要説明
 - 第2回: スペイン文化のビデオ
 - 第3回: 再帰動詞
 - 第4回: 現在完了形規則動詞
 - 第5回: 現在完了形不規則動詞、会話ビデオ
 - 第6回: 直説法未来形(規則動詞、不規則動詞)
 - 第7回: 旅行会話とビデオ
 - 第8回: 比較級と最上級、身体部分名称
 - 第9回: 現在分詞と現在進行形
 - 第10回: 線過去
 - 第11回: 余暇の過ごし方と病院での会話
 - 第12回: 点過去規則動詞
 - 第13回: 3種類の過去形
 - 第14回: 試験・まとめ
- その他 総括とふりかえり

【秋学期】

- 第1回: 夏期休暇後の総復習
 - 第2回: 命令法規則動詞
 - 第3回: 命令法不規則動詞
 - 第4回: 過去完了形
 - 第5回: 文化ビデオ
 - 第6回: 接続法現在形
 - 第7回: 願望、推測、価値判断
 - 第8回: 条件法、希望の表現
 - 第9回: 試験
 - 第10回: 接続法過去形
 - 第11回: 復習、文化ビデオ
 - 第12回: 条件法
 - 第13回: 間接話法
 - 第14回: 試験・まとめ
- その他 総括とふりかえり

成績評価方法:

春学期: 試験80% 授業中評価・宿題20%
秋学期: 試験80% 授業中評価・宿題20%

テキスト(教科書):

TeVeo DTP出版

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語圏の詩と小説
春学期・秋学期: 火5

浜田 和範

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語で書かれた物語作品と詩を読む。初級文法の残りを学んだのち、平易な読み物から始めて徐々に難易度を上げていき、最終的には言語を用いた芸術としての短篇小説を、辞書の助けを借りて何とか自分で読める地点まで到達することを目指す。同時に、スペイン語圏の文学について概括的な理解を深める。余裕があれば映像作品なども用い、文学作品に対する多角的なアプローチも試みたい。

授業の計画:

- 第1回 インTRODククション・既習事項の復習)
 - 第2回 文法(接続法現在)
 - 第3回 文法(接続法現在)
 - 第4回 文法(接続法現在)
 - 第5回 文法(命令文)
 - 第6回 文法(接続法過去)
 - 第7回 文法(条件文)
 - 第8回 講読1-1
 - 第9回 講読1-2
 - 第10回 講読1-3
 - 第11回 講読2-1
 - 第12回 講読2-2
 - 第13回 講読2-3
 - 第14回 総括および試験
- その他 課題・レポート

- 第1回 インTRODククション
 - 第2回 講読1-1
 - 第3回 講読1-2
 - 第4回 講読1-3
 - 第5回 講読1-4
 - 第6回 講読2-1
 - 第7回 講読2-2
 - 第8回 講読2-3
 - 第9回 講読2-4
 - 第10回 講読3-1
 - 第11回 講読3-2
 - 第12回 講読3-3
 - 第13回 講読3-4
 - 第14回 総括および試験
- その他 課題・レポート

成績評価方法:

授業への貢献 30%
授業内課題(小テスト・提出物など) 20%
試験・レポート等の成績 50%

遅刻二回につき欠席一回とみなす。全授業回数数の三分の一欠席した者は、単位取得の条件を喪失する。

テキスト(教科書):

テキストはこちらで随時配布する。

参考書:

■辞書に関しては、慶應法学部で推奨された中辞典級のものを使用すること(電子辞書可)。

■言葉の持ちうる表現力を最大限に引き出そうとする文学テキストのレトリックを読み解くためには、文法の十全な理解が欠かせない。予習復習、あるいは自主的なブラッシュアップの面からも、必要に応じ文法書あるいは高度な教科書を随時参照することが望ましい。手軽な一冊として、次の書籍を紹介しておく。

-瓜谷良平『新版 スペイン語の入門《CD付》』白水社、2015年
ISBN: 978-4560087046

■スペイン語圏文学に関する手頃な紹介としては、次の3冊を挙げておく。

-佐竹謙一『スペイン文学案内』岩波文庫、2013年 ISBN:
978-4003500262

-木村榮一『ラテンアメリカ十大小説』岩波新書、2011年 ISBN:
978-4004312963

-寺尾隆吉『ラテンアメリカ文学入門ーボルヘス、ガルシア・マルケスから新世代の旗手まで』中公新書、2016年 ISBN: 978-4121024046
■物語を読むということ自体に興味のある向きは、次の書籍を参照されたい。

-橋本陽介『ナラトロジー入門ーブロップからジュネットまでの物語論』水声社、2014年 ISBN: 978-4801000490

-マリオ・バルガス＝リョサ『若い小説家に宛てた手紙』新潮社、2000年 ISBN: 978-4105145064

担当教員から履修者へのコメント:

語学の要諦は語彙と文法に極まる。こまめに辞書を引き、文法をゆるがせにしないこと。それこそが遠く離れた時代や土地の人々を理解する鍵なのだ肝に命じて欲しい。辞書は毎回持参すること。教室でのスマホ使用は、こちらが指示する場合を除き、いかなる理由においても厳禁とする。

授業内容は、履修者の顔ぶれによって多少の変更をとまなう場合がある。

質問・相談:

授業前後に随時受け付ける。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

ラテンアメリカの政治と社会(と文学と映画)

春学期・秋学期: 火4

渡辺 暁

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業を担当させていただくようになってから、もう10年以上が経ちます。ラテンアメリカ各国の政治と社会に関するスペイン語の文献の講読、音楽や映画の鑑賞を通して、スペイン語の運用能力の向上をはかりつつ、ラテンアメリカ政治について基本的な知識を学ぶことを目標として、2019年度までは授業を行なってきました。

2019年度からはそれに加えて、前期のかなりの部分を、文法の復習にあてることにしました。比較的平易な教科書を用い、1年次に履修した文法の理解を着実なものにしてから、文章を読んだり、映画の聞き取り+解説を行ったりしたいと思って授業を進めてきました。

また、2020・21年度はみなさんもおそらくお察しの通り、全ての授業をオンラインで行いました。2022年度は対面授業が復活しますが、授業の半分はオンラインでやるのが可能ですので、この授業でも対面とオンライン(ZOOMによる双方向授業と録画)それぞれの良さを生かしていくような形を考えています。例えば、文法の復習については、動画を作成し、みなさんが見直せるようにしておけば、たまたまにかの理由で授業中に集中できなくても、きちんと復習ができていいのかな、という気がしています。また、ZOOMでの双方向授業は、ゲストを呼んだりするときには本当に素晴らしいですよ。そしてもちろん対面授業の回は、せっかくですので、対面授業ならではの映像を使った授業、なども積極的に行っていけたらと思っています。そのような感じで、色々組み合わせながら、楽しくスペイン語を勉強していけたらと思っています。

内容的には、春学期は、文法を復習した後に、I, IIの未習文法項目である接続法・命令法を学び、映画作品を使いながらラテンアメリカの政治と社会に関して勉強して頂く授業を、秋学期はラテンアメリカの文学作品を辞書を引ながら読んでいく、という授業を展開していきます。(授業計画を参照して下さい。)

なおこの授業は、制度的にはともかく、秋学期のみ単位が必要な人であっても、春学期から授業に出席していただくことを、講師として強くお願いしておきます。(留学から学期中に帰国した、などの特殊な場合はもちろん考慮しますが、帰国して大学に通えるようになった時点から参加して下さい。)「秋学期だけ」という方々は、こういう言い方をすると失礼ですが、おそらくスペイン語がそこまで得意ではない方が多いと思います。そうした方々には、半年のプランクをあげるより、春学期も一応授業に参加して課題等をこなしておいた方が、必要な秋学期の単位の取得が確実になるのではないかと、とも申し上げておきます。また、秋学期から受講される方には、春学期に課す予定の文法テストを、11月半ば頃をめぐりに受けてもらう予定です。

授業の計画:

【春学期】

第01回 イントロダクション、授業内容についての説明

第02回 スペイン語文法の復習1

第03回 スペイン語文法の復習2

第04回 スペイン語文法の復習3

第05回 スペイン語文法の復習4

第06回 スペイン語文法・接続法1

第07回 スペイン語文法・接続法2

第08回 スペイン語文法・接続法3

第09回 スペイン語文法・接続法4、文法の復習テスト

第10回 映画上映 (La historia oficial [Argentina, 1985]) とその解説1

第11回 映画上映 (La historia oficial [Argentina, 1985]) とその解説2

第12回 映画上映 (Chiamatemi Francesco [Argentina-Italia, 2015]) とその解説1

第13回 映画上映 (Chiamatemi Francesco [Argentina-Italia, 2015]) とその解説2

第14回 期末レポートの提出・それに基づく各自の発表・講師による総括

その他 適宜授業の振り返りのための課題を出します。

【秋学期】

第01回 イントロダクション: 講読していく作品の紹介

第02回 ガルシマルケスの短編 (La Santa) 講読1

第03回 ガルシマルケスの短編 (La Santa) 講読2

第04回 ガルシマルケスの短編 (La Santa) 講読3

第05回 ガルシマルケスの短編 (La Santa) 講読4

第06回 ガルシマルケスの短編 (La Santa) 講読5

第07回 ガルシマルケスの短編 (La Santa) 講読6

第08回 ガルシマルケスの短編 (Buen viaje, Sr. Presidente) 講読1

第09回 ガルシマルケスの短編 (Buen viaje, Sr. Presidente) 講読2

第10回 ガルシマルケスの短編 (Buen viaje, Sr. Presidente) 講読3

第11回 ガルシマルケスの短編 (Buen viaje, Sr. Presidente) 講読4

第12回 ガルシマルケスの短編 (Buen viaje, Sr. Presidente) 講読5

第13回 ガルシマルケスの短編 (Buen viaje, Sr. Presidente) 講読6

第14回 総括・期末レポート課題の発表

その他 適宜授業の振り返りのための課題を出します。

成績評価方法:

成績のつけ方については、スペイン語の能力とラテンアメリカ政治についての理解の両方を評価できるような試験方法を探して試行錯誤してきましたが、基本的に今年度から、春学期は、**授業中に扱ったスペイン語の文法に関する試験と、授業で扱った映像資料等についての小レポート**、ならびに**学生の皆さん自身が興味を持ったラテンアメリカ社会に関する期末レポート**、これらの組み合わせで行う予定です。秋学期については新しい試みなのでまだどのような形で評価をするか、詰め切れていませんが、秋学期の授業の内容をベースに、皆さんの勉強して下さったことが生きるような課題を模索していく予定です。

テキスト(教科書):

二宮哲『スペイン語文法の要点』朝日出版社

を、文法の復習のための教材として使います。その後はプリントを使用します。

参考書:

例年勧めている基本文献はこちらです。

高橋均、網野徹哉『ラテンアメリカ 文明の興亡』世界の歴史18、中央公論社、1997年

ななころびやおき『ブエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」』ラティーナ、2005年

また、講読する予定のガルシア＝マルケスの短編集は翻訳が出ています。なるべくスペイン語を自分で頑張って辞書を引いて読んでほしい、もちろん教員としては思っていますが、翻訳を見ながらなのでこういう訳になるんだろう、と考えるのもいいかなあ、と、最近では思っています。

ガルシア＝マルケス『十二の遍歴の物語+予告された殺人の記録』新潮社

スペイン語については、以下の2冊がおすすめです。

上田博人『スペイン語文法ハンドブック』研究社
岡本信照『スペイン語の世界』慶應義塾大学出版会

その他の参考書については授業中に指示します。

また、授業計画にあげたもの、そしてそれ以外でも部分的にいいから取り上げられたらいいな、と思っている映画について、この「参考書」の欄にあげておきます（順不同）。

Maria Ilena eres de gracia (Colombia-US, 2004 [Drug trafficking and migration])

Sin nombre (Mexico-US, 2009 [Migration from Central America])

La ley de Herodes (Mexico, 2000 [Mexican politics])

La historia oficial (Argentina, 1985 [The last phase of the military regime])

El infierno (Mexico, 2010 [Mexican politics and drug violence])

Los que se quedan (Mexico, 2008 [Mexican migration])

El secreto de sus ojos (Argentina, 2009 [Politics and society of Argentina])

El diario de motocicleta (Argentina, 2004 [Politics and society of Latin America])

担当教員から履修者へのコメント:

*まず、授業の形態ですが、オンライン授業多めで（それでもきちんとしたわかりやすい授業をする自信があるので）行きます。また、最初の数回はオンライン授業で様子を見ます。

まず最初をお願いしておきます。**単位の都合で秋学期のみ履修すればよい、という方も、なるべく春学期から履修するようにして下さい。**セメスター制とはいえ、それ以外の大多数の人が春学期という時間を共有してくれているわけですから、そこに9月になってからいきなり来られても、ご本人も戸惑うのではないかと思います。また、先ほども書いたように、9月から受講される方には、他の皆さんが春学期に受けて下さった文法テストを受けてもらいますので、そちらもご理解をお願いします。

この授業については、しっかり予習・復習しながら真面目につきあって頂ければ、その両方についてある程度の成果が出るよう、教える側としてもそれなりの努力をしているつもりですので、この授業を通してラテンアメリカや途上国の政治・社会について何かを得たい、というモチベーションのある人にぜひ取っていただきたいと思います。（副産物として、映画や文学作品を通して社会について学ぶという姿勢もできてくると思います。）

質問・相談:

授業に関することはもちろんそうでないことについても、質問や相談を歓迎します。授業の前後はもちろん、授業中もわからないことがあったら、いつでも話をさそって質問して下さってけっこうです。

スペイン語第三(B群)

スペイン語

スペイン語第三 1単位(春学期)

スペイン語第三 1単位(秋学期)

エクспレス・スペイン語文法

春学期・秋学期:月4

大場 樹精

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語I, IIで学習したスペイン語文法・語彙の復習に取り組み、知識の定着を目指す。教科書に沿って学習事項の復習と練習問題に取り組みほか、ペアワークや長文読解も取り入れる。秋学期は新しい文法項目として、接続法を学習する。

授業の計画:

【春学期】

第1回 イントロダクション、Unidad 1 (直説法現在:規則動詞, ser, estar)

第2回 Unidat 1 (直説法現在:語幹母音変化動詞、再帰動詞)

第3回 Unidat 2 (直説法現在:不規則動詞)

第4回 Unidat 2 (直説法現在:現在分詞、関係詞)

第5回 Unidat 3 (目的格人称代名詞)

第6回 Unidat 3 (gutar型動詞)

第7回 【確認テスト】Unidat 4 (比較級)

第8回 Unidat 4 (直説法点過去)

第9回 Unidat 4 (直説法点過去・線過去)

第10回 Unidat 5 (過去分詞、現在完了)

第11回 Unidat 5 (現在完了、過去完了)

第12回 【確認テスト】Unidat 6 (直説法未来、過去未来、命令表現)

第13回 Unidat 6 (直説法未来、過去未来、命令表現の練習)

第14回 試験・補足説明

その他:課題、予習・復習

【秋学期】

第1回 接続法現在の導入

第2回 Unidat 7 (接続法現在活用)

第3回 Unidat 7 (接続法現在の用法①)

第4回 Unidat 8 (接続法現在の用法②)

第5回 Unidat 8 (接続法現在の練習、不定語・否定語)

第6回 【確認テスト】、Unidat 9 (接続法の用法③)

第7回 Unidat 9 (接続法の用法④)

第8回 Unidat 10 (接続法現在完了・過去)

第9回 Unidat 10 (接続法過去の練習、絶対最上級)

第10回 【確認テスト】Unidat 11 (命令表現)

第11回 Unidat 11 命令表現

第12回 Unidat 12 条件文

第13回 接続法・命令表現のまとめ

第14回 試験・補足説明

その他:課題、予習・復習

成績評価方法:

平常点(10%)、小テスト・課題(10%)、学期ごとに2回実施する確認テスト(合計30%)、期末試験(50%)の合計で評価する。

4回以上欠席した場合は、原則として単位取得は認められない。

テキスト(教科書):

『イメージ・スペイン語2』エウヘオ・デル・プラドほか著、朝日出版社、2022年。ISBN: 978-4-255-55132-6 C1087

参考書:

授業中に紹介する。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には、紙媒体の西和辞典(中規模)か電子辞書を持参してください。

宿題が出た場合は、自分で授業前に取り組んできてください。

確認テストは、満点をとるつもりで復習して臨んでください。翌週に返却、フィードバックをします。

外国語を学習し、定着させる方法は、地道にコツコツと反復練習することに尽きます。たくさん練習し、スペイン語を自分のものにしていきましょう。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

スペイン語第三 1単位(春学期)

スペイン語第三 1単位(秋学期)

エクспレス・スペイン語文法

春学期・秋学期:月5

工藤 由美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初級文法の復習に重点を置き、適宜、読解、作文、会話などの練習を行う。この授業はリアルタイムとオンデマンド併用のオンライン授業を行う。

授業の計画:

【春学期】

第1回 13課:接続法現在①名詞節

第2回 13課:接続法現在②副詞節

第3回 13課:接続法過去

第4回 14課:命令法①、アクセント

第5回 14課:命令法②

第6回 小テスト、1課:名詞の性数、定冠詞と不定冠詞、形容詞

第7回 2課:人称代名詞、直説法現在①規則活用

第8回 3課:ser・estar動詞の直説法現在

第9回 4課:hayとestar動詞の使い分け

第10回 4課:前置詞

第11回 5課:直接法現在②不規則活用

第12回 5課:直接法現在③語幹母音変化

第13回 授業内試験と補足説明

第14回 振り返りと総括

その他 課題

【秋学期】

第1回 6課:目的語人称代名詞、gutar型構文

第2回 7課:直説法点過去①規則活用、不定語と否定語

第3回 8課:直接法点過去②強変化

第4回 8課:直接法点過去③不規則活用

第5回 9課:直接法線過去

第6回 9課:比較

第7回 10課:再帰動詞①基本用法

第8回 10課:再帰動詞②派生用法

第9回 文法補足:現在分詞、過去分詞

第10回 11課:直説法現在完了、関係詞

第11回 12課:未来形、過去未来形

第12回 これまでの復習

第13回 授業内試験と補足説明

第14回 振り返りと総括

その他 課題

成績評価方法:

成績は、提出課題、会話練習、試験から総合的に評価する。なお、原則、欠席4回以上で評価対象外とするので注意すること。

テキスト(教科書):

『新・エストレリータ -スペイン語入門コース-』栗林ゆき絵他 朝日出版社 2019年 ISBN:978-4-255-55104-3

参考書:

適宜、授業中に紹介する。

担当教員から履修者へのコメント:

・授業は対面で実施します。ただし、コロナウィルス感染拡大の状況に応じて、オンライン(オンデマンド形式)に一時的に切り替える可能性があります。その際は事前にお知らせします。

・予習が大前提です!予習の際は、少なくともわからない単語の意味を辞書で調べておきましょう。また、テキスト付録の音声ストーリーミングを聞いて、スペイン語の音に慣れましょう。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

スペイン語第Ⅳ(B群)

スペイン語

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

ラテンアメリカをめぐる人の移動を学ぶ
春学期・秋学期:木2

大場 樹精

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語I, IIの内容を踏まえ、この授業では文献購読、ドキュメンタリーや映画の鑑賞を通して、スペイン語の読解力や理解力を高めることを目的とした授業です。文献や映画のテーマとしてはスペイン語圏の移民を取り上げ、ラテンアメリカをめぐる人の移動の実態・背景・影響等について理解を深めることを目指します。内容については、適宜日本語での解説も行います。なお、秋学期のはじめに接続法を学びます(プリントを配布します)。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回: イントロダクション
 - 第2回: I, IIの復習
 - 第3回: ラテンアメリカからの移民の全体像
 - 第4回: 背景①中米の経済社会状況
 - 第5回: 背景②南米の経済社会状況
 - 第6回: 背景③政治的背景
 - 第7回: 米国のラティノー①居住地域の特徴
 - 第8回: 米国のラティノー②言語・文化の変容
 - 第9回: 米国のラティノー③経済活動と祖国への影響
 - 第10回: 米国のラティノー④政治参加
 - 第11回: 米国のラティノー⑤(映画鑑賞と解説)
 - 第12回: 米国のラティノー⑥(映画鑑賞と解説)
 - 第13回: スペイン、日本のラティノー
 - 第14回: 期末試験、総括
- その他、レポート

【秋学期】

- 第1回: イントロダクション、春学期の復習
 - 第2回: 接続法(1)
 - 第3回: 接続法(2)
 - 第4回: 接続法(3)
 - 第5回: 接続法(4)
 - 第6回: ラテンアメリカの人種・文化の多様性
 - 第7回: 近代移民①イタリヤ人
 - 第8回: 近代移民②アラブ系
 - 第9回: 近代移民③日本人
 - 第10回: 現代①華人
 - 第11回: 現代②欧米日本への(再)移民
 - 第12回: 映画鑑賞と解説①
 - 第13回: 映画鑑賞と解説②
 - 第14回: 発表、総括
- その他、レポート

※取り上げる内容は、履修者の関心等を考慮して若干変更する場合があります。

成績評価方法:

授業でのパフォーマンス、小テスト、レポート、試験によって総合的に評価します。

テキスト(教科書):

教科書は指定しません。適宜プリントや資料を配布・公開します。

参考書:

授業で紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

長文読解では、予習が不可欠です。授業にも辞書(紙・電子辞書)を持参してください。

なお、授業は大学のガイドラインに沿った形式で実施します。原則として対面授業の予定ですが、状況に応じてオンライン/オンデマ

ンドに切り替える可能性もゼロではありません。授業形態を変更する場合は、事前に連絡します。

質問・相談:

授業でわからないことは、もちろんその場で聞いてもらって構いません。授業前後も受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

春学期は接続法を中心とした文法と講読を行い、秋学期は日本文化をスペイン語で学習する。

春学期・秋学期:金4

荻野 恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は接続法を中心に文法全体を固め、スペイン文化に関する講読をする。秋学期は外務省制作「Japan Video Topics」を視聴しながら文法の復習、トピックの講読、スペイン語での質問・応答文の作成を通じ、語学習得の4要素一聞く、書く、読む、話すの総合的向上を目標とする。

授業の計画:

- I. 春学期: P. ガルシア他『ブラサ・マヨールIIソフト版一ステップ・アップ・スペイン語一』(朝日出版社)
- 第1回: 第5課 接続法(その1) 名詞節
 - 第2回: 第5課 講読「スペインの歴史」
 - 第3回: 第6課 接続法(その2) 形容詞節
 - 第4回: 第6課 講読「絵画と美術館」
 - 第5回: 第7課 接続法(その3) 副詞節 独立文
 - 第6回: 第7課 講読「セルバンテスとドン・キホーテ」
 - 第7回: 第8課 接続法過去 活用と用法
 - 第8回: 第8課 講読「20世紀のスペイン」
 - 第9回: 第9課 条件文
 - 第10回: 第9課 講読「スペイン語について」
 - 第11回: 復習 再帰動詞
 - 第12回: 肯定命令(プリント)
 - 第13回: 否定命令(プリント)
 - 第14回: まとめ/復習
- その他: 課題/予習

II. 秋学期: 外務省制作「Japan Video Topics」Web.公開*選択する月は変更になる可能性あり

- 第1回: 2022/1のトピックから教員が選択
 - 第2回: 第1回内容に関するアクティビティ
 - 第3回: 2022/2のトピックから教員が選択
 - 第4回: 第3回の内容に関するアクティビティ
 - 第5回: 2022/3のトピックから教員が選択
 - 第6回: 第5回の内容に関するアクティビティ
 - 第7回: 2022/4のトピックから教員が選択
 - 第8回: 第7回の内容に関するアクティビティ
 - 第9回: 2022/5のトピックから教員が選択
 - 第10回: 第9回の内容に関するアクティビティ
 - 第11回: 2022/6のトピックから教員が選択
 - 第12回: 第11回の内容に関するアクティビティ
 - 第13回: 2022/7のトピックから教員が選択
 - 第14回: まとめ/復習
- その他: 課題/総括

成績評価方法:

授業内試験で評価する。実施日は授業内で伝達する。ただし欠席が4回になると試験得点は「0点」となり、単位の取得は不可。

テキスト(教科書):

春学期: P. トレナド他『ブラサ・マヨールII ソフト版一ステップアップ・スペイン語一』朝日出版社 2016 ISBN: 978-4-255-55026-8 C 1087

秋学期: 外務省制作「Japan Video Topics」はWeb.公開の為、教科書不要。*春学期の進度によっては上記テキストを数回継続使用。

担当教員から履修者へのコメント:

授業は原則対面で行うが、感染状況によってはオンラインに変更となる為、ネット環境も整えておくこと。受講に際しては法学部指定の辞書を使用し、毎回予・復習に1時間は必要です。

質問・相談:

原則対面授業内で対応します。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

映画と(の)スペイン語
春学期・秋学期:火2

金谷 重朗

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、皆さんが1年生で学んだスペイン語が実際にスペインやラテンアメリカでどのように使われているか、「映画」という芸術作品を通じて、生のスペイン語に触れてみようという試みです。劇中の会話の聞き取りから、各国・地域固有の表現などに触れて、自分で口に出して繰り返すことで、スペイン語に向き合ってください。

「映画」という芸術を通じてスペイン語を話すそれぞれの国の文化を体験し、同時にその創作が「どのように成り立っているか」を見ることで、作品をより深く楽しむことができると思います。

履修予定の皆さんが生まれる頃、21世紀がはじまる前後から、「アモーレス・ペロス」(00年、アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトウ)「Japónハボン」(02年、カルロス・レイガダス)の登場によって、世界の映画シーンでは専門家による「メキシコ映画」の評価が高まりました。その後、ペルー、アルゼンチンから新しい才能が現れて、00年代、10年代とラテンアメリカの映画はカンヌやヴェネツィア、ベルリンなどの世界の映画祭で確固たる地位を築き、アルフォンソ・クアロン(「ゼロ・グラビティ」など)、ギジェルモ・デル・トロ(「シェイプ・オブ・ウォーター」)など、米・ハリウッドでの製作で実績を築き上げていきました。スペインでは、1980年代にキャリアを開始し、今や世界的巨匠として知られるペドロ・アルモドバルのほか、俊英のアレハンドロ・アメンバルも精力的に作品を世に送り続け、他にもホラー映画などで創造力を発揮する作り手も現れ、日本での公開作も増えてきました。

春・秋のそれぞれの学期において、課題作品の映画を鑑賞し、続く数回にわたって、課題映画について取り上げます。毎回、ワーク(trabajo)を出しますので、授業同日中の期限内にgoogle formや「授業支援」等から提出していただきます。

2022年春以降の新型コロナ感染状況がどうなるかは見通せませんので、原則、対面とオンラインを交互に行う予定です。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 イン트로ダクション※、課題映画I 鑑賞
 - 第2回 映画I 演習① 接続法I
 - 第3回 映画I 演習② 接続法II
 - 第4回 映画I 演習③ 接続法III
 - 第5回 課題映画II 鑑賞
 - 第6回 映画II 演習① 接続法IV
 - 第7回 映画II 演習② 接続法V
 - 第8回 映画II 演習③ 接続法VI
 - 第9回 課題映画III 鑑賞
 - 第10回 映画III 演習①
 - 第11回 映画III 演習②
 - 第12回 映画III 演習③
 - 第13回 映画I, II, IIIについて春学期ふりかえり
 - 第14回 その他、春学期のまとめ、補足等
- ※初回のイントロダクションは、ビデオで配信しますので、初回授業前に見ておいてください。

【秋学期】

- 第1回 イン트로ダクション※、課題映画I 鑑賞
- 第2回 映画I 演習① 接続法I
- 第3回 映画I 演習② 接続法II
- 第4回 映画I 演習③ 接続法III
- 第5回 課題映画II 鑑賞
- 第6回 映画II 演習① 接続法IV
- 第7回 映画II 演習② 接続法V
- 第8回 映画II 演習③ 接続法VI
- 第9回 課題映画III 鑑賞
- 第10回 映画III 演習①
- 第11回 映画III 演習②

第12回 映画III 演習③

第13回 映画I, II, IIIについて秋学期ふりかえり

第14回 その他、秋学期のまとめ、補足等

※初回のイントロダクションは、ビデオで配信しますので、初回授業前に見ておいてください。

※上記のスケジュールは、あくまで予定で、前後する場合があります。

扱う課題映画によっては、多少休み時間にずれ込む場合、または開始時間を前倒しする場合があります。

課題映画1作品につき続く3回ないしは2回取り上げる予定ですが、増減する場合があります。

2022年春以降の新型コロナ感染状況がどうなるかは見通せませんので、原則、第1回など奇数回は対面授業、偶数回はオンライン、と対面とオンラインを交互に行う予定です(ただし、感染状況や習熟度により変更する場合があります)。

成績評価方法:

以下の配分で採点します。

- asistencia (出席)=35%、
- trabajo (ワークの提出)=35%
- participación (積極性・参加等)=30%

詳しい内容は初回の授業でお伝えします。

※オンライン・ライブの際は、zoomのビデオ・マイクは原則「ON」を原則とします。participación(参加等)にカウントします。

テキスト(教科書):

教科書はありませんが、課題映画の鑑賞に際し、対面授業での鑑賞のほか、NetflixやAmazon Primeなどオンラインの動画プラットフォームで鑑賞していただきます。この場合のレンタル料、サブスクリプションの料金の実費は負担していただきます。

参考書:

・1年生の時に履修したスペイン語の教科書も常に持参してください。

・辞書、ネットの西和辞典ではなく、特に西和辞典(紙かアプリ)を活用してください。初回の授業のtrabajoでは、お使いの辞書について答えていただきます。

・授業中、ネットで見つかる資料などを提示する場合があります。

担当教員から履修者へのコメント:

履修学生は、このシラバスに書かれた内容に「同意」されているものとして扱います。

オンライン・ライブの際は、特段の事情がない場合、zoomのビデオ・マイクは原則「ON」を原則とします(participación(積極性・参加等)にカウント)。zoomの背景等は、各自でぼやかす、パーティクル背景等に設定をしておいてください。

毎回、ワーク(trabajo)を出します。10-20分程度でまとめられる内容ですので、授業同日中の期限内にgoogle form、「授業支援」等から提出していただきます。

履修者は、授業計画、評価方法、テキスト、そしてこの履修者へのコメントなど、このシラバスに記載の事項に同意の上で、かつ授業では1年次のスペイン語初級レベルの文法を習得した上で、履修されているという前提で授業を進行します。

その上で、皆さんには、好奇心を持って、授業に臨んでいただくことを求めます。

授業の課題映画はもちろんのこと、文学・音楽・美術など様々な他の芸術ジャンルにも意欲的にアンテナを張っていただけますよう、積極的な参加を求めます。

質問・相談:

メールで受け付けます。件名「質問・スペイン語IV○○○○」として、○○を氏名に置き換えた上で、canalla@keio.jp までご連絡ください。およそ3営業日以内に回答します。また、質問内容によりヒアリングが必要な場合には、後日zoom等でヒアリング・回答する場合があります。またtrabajoのformなどでいただいた質問は、次回授業で全体に共有します。

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語圏の文学を楽しむ
秋学期: 火5

高際 裕哉

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語で書かれた近現代文学(短編小説・詩)の読解を行う授業です。学部の方針として春学期半分は文法事項の学習に充てます。

それ以降は一回の授業を

- ①スペイン語圏の小説を日本語訳を通じて読む課題をこなす
 - ②原語から文学作品をゆっくり楽しむ時間
- の二つに分けて行おうと思っています。

文学は「言葉を使った芸術」総体のことで、言葉がメディアであるならなんでもありの世界です。芸術・アート全般の指示対象や語られる事柄がなんかわからないけど広いのとまったく同じで、文学も同じくらい幅が広いです。

読むことを通じて心を落ち着いた方向に整えてくれる作品もあれば、なんなら文学を使って現実をひっくり返そうとする殺気をはらんだものもあります。講師としては後者の方に惹かれていましたが、前者の方も年を重ねるにつれしみじみいいなと思っています。いずれにしても必要なのはまず作品を読むことです。日々の暮らしにかまけて「言葉を使った芸術」の読解行為に割く時間がなかなか持たないというのはいつの時代も変わらないかもしれません。講師自身も反省しています。授業時間を口実に、スペイン語で書かれた「言葉を使った芸術」を味わう時間を確保する、というのがこの授業の目的です。

具体的に今想定しているのは

- ①日本語訳を通じてスペイン語圏の小説・詩に触れ
- (A)スペイン語圏の個別の文学作品が持つ前提条件を把握し、
(B)文学作品では何が行われているかを考え、形にしてみる(レポート課題)
ことと
- ②スペイン語の原語を通じて作品をゆっくり味わうことを通じて
- (A) スペイン語の文法を活かして読解をしてみる
(B)スペイン語で読まないといけない喜びを味わう
(C)スペイン語に触れて日本語との交渉をする中でスペイン語と日本語の能力をそれぞれ成長させる
を併せて授業を進める、という形式です。

授業の計画:

春学期

- 第1回 インTRODクシヨン(自己紹介と授業の進め方)
 - 第2回 接続法の用法(1) 文法の確認①現在形
 - 第3回 接続法の用法(2) 文法の確認②点過去
 - 第4回 接続法の用法(3) 文法の確認③線過去と点過去
 - 第5回 接続法の用法(4) 文法の確認④未来形と過去未来形
 - 第6回 接続法のテスト・その1
 - 第7回 接続法の用法(5) 読解1-1
 - 第8回 接続法の用法(6) 読解1-2
 - 第9回 接続法の用法(7) 読解1-3
 - 第10回 接続法の用法(8) 読解1-4
 - 第11回 接続法のテスト・その2
 - 第12回 読解2-1
 - 第13回 読解2-2
 - 第14回 前期のまとめとテストかレポート
- その他 課題とレポート提出

秋学期

- 第1回 読解3-1
- 第2回 読解3-2
- 第3回 読解3-3
- 第4回 読解3-4
- 第5回 テストと映画
- 第6回 読解4-1
- 第7回 読解4-2
- 第8回 読解4-3
- 第9回 読解4-4

第10回 テストと映画

- 第11回 読解5-1
 - 第12回 読解5-2
 - 第13回 読解5-3
 - 第14回 テストとまとめ
- その他 課題とレポート提出

成績評価方法:

平常点(授業内の発言・翻訳の発表・意見の提示)40%、提出物:30%、授業内テスト30%。なお欠席は4回目で成績評価の対象から外れます。遅刻2回で1回欠席とカウントします。

テキスト(教科書):

春学期には以下の短編アンソロジーを準備しておいてください。
野谷文昭編訳、『20世紀ラテンアメリカ短篇選』(岩波書店、2019)ISBN: 9784003279311、文法内容に関しては受講生にプリントを配布することで換えようと思います。

読み物に関してはスペイン語のテキストはできる範囲で配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

他のスペイン語の授業でそうであったように、教室内では紙辞書か電子辞書を使用してください。スマホ・タブレット・PCの使用に際しては事前に講師と相談のうえで許可をとるか、必要な際に挙手をして申し出てください。予習に際しても紙辞書をアプリ化させた有料のもの以外に使わないように(授業中に説明をします)。翻訳アプリを使用したことが明らかになった場合、即刻成績評価の対象から外します。

質問・相談:

授業前後に質問相談を受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語圏の文化、社会、政治、スポーツ(リスニングとリーディング)

春学期・秋学期: 水5

仲道 慎治

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

既習したスペイン語の基礎知識を体系的に確認しながら、ニュースを通して、スペイン語圏の文化・社会・政治・スポーツなどに関する文章を読み進める。スペインに関する知識を深めつつ、読解・聴解能力を高めていくことを第1の目標とする。更に、読解を通して学習した表現や文法項目を使用しながら、スペイン語運用能力を向上させることを第2の目標とする。また、スペイン語の背景にあるスペイン語圏の文化などの説明していく予定。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回: イントロダクシヨン L1 Las redes sociales y el ocio 直説法現在一再帰動詞
 - 第2回: Vocabulario y "Es noticia"接続法現在①
 - 第3回: L2 El tenista español Rafael Nadal gustarの用法、不定詞を伴う表現
 - 第4回: Vocabulario y "Es noticia"接続法現在②
 - 第5回: L3 El restaurante más antiguo del mundo: Botín 現在完了と点過去
 - 第6回: Vocabulario y "Es noticia" 接続法現在③
 - 第7回: L4 La moda 点過去と線過去
 - 第8回: Vocabulario y "Es noticia"命令表現①
 - 第9回: L5 La adopción 点過去、線過去、過去完了
 - 第10回: Vocabulario y "Es noticia"命令表現②
 - 第11回: L6 La energía eólica 未来と過去未来
 - 第12回: L7 Cómo preparar un buen café 不定詞をとまなう助動詞的表現
 - 第13回: L8 El programa Erasmus 比較級
 - 第14回: 試験・まとめ
- その他 課題

【秋学期】

- 第1回: L9 La política comunitaria en Honduras 接続法現在(1)
- 第2回: Vocabulario y "Es noticia"
- 第3回: L10 Equiparación de los permisos de maternidad y paternidad 接続法現在(2)
- 第4回: Vocabulario y "Es noticia"

- 第5回: L11 Aporofobia 接続法現在(3)
- 第6回: Vocabulario y "Es noticia"
- 第7回: L12 Consejos para aprender japonés 接続法現在(4)
- 第8回: Vocabulario y "Es noticia"
- 第9回: L13 La entanasia en España 接続法過去(1)
- 第10回: Vocabulario y "Es noticia"
- 第11回: L14 La historia del Chupa Chaps 接続法過去(2)
- 第12回: Vocabulario y "Es noticia"
- 第13回: L15 Un sueño perdido en el mar Mediterráneo 条件文
- 第14回: 試験・まとめ
- その他 課題

成績評価方法:

課題と参加: 30%、テスト(小テスト・期末テスト含): 70%

テキスト(教科書):

『ニュースで学ぶ中級スペイン語(改訂版)』中島聡子、佐藤佐知、David Taranco 共著 三修社 2022年 ISBN978-4-384-42021-0 C1087

担当教員から履修者へのコメント:

リーディングを中心とした授業ですので、予習して授業に臨むことが前提となります。積極的に参加する意欲のある学生を歓迎します。

欠席は3回までを限度とします。

質問・相談:

授業後に質問等を受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語圏の音楽・芸術文化

春学期・秋学期: 木2

藤本 愛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、スペイン語圏の音楽や芸術文化を通じて、スペイン語にさらに親しみ、幅広い視野を身につけることを目的とします。スペイン語圏の音楽・芸術文化というと、スペインのフラメンコやガウディの建築等を想起する方が多いですが、世界にスペイン語を話す国・地域は20ヶ国以上あり、それぞれが多様な文化を持っています。また、昨今の世界的な音楽ヒットチャートや映画等でもスペイン語に触れる機会は非常に多く、ポピュラー文化においてもますます重要度を増していると言えます。授業では、音楽/映画/建築/料理/スポーツなど、受講生の興味・関心に合わせて題材とする文化を選び、辞書を引けば実際のニュースや雑誌記事なども大まかに理解できるようになることを目標とします。春学期・秋学期にそれぞれグループでのプレゼンテーションも行いますので、積極的に楽しく取り組んで頂ければと思います。

授業の計画:

以下の予定は仮のものであり、細かい内容は受講生の皆様と相談の上決定します。

【春学期】

- 第1回 インTRODクシヨン
- 第2回 文法復習、接続法(1)
- 第3回 接続法(2)
- 第4回 命令形
- 第5回 スペイン語圏の文化(1)
- 第6回 スペイン語圏の文化(2)
- 第7回 プレゼンテーション(1)
- 第8回 プレゼンテーション(2)
- 第9回 スペイン語圏の文化(3)
- 第10回 スペイン語圏の文化(4)
- 第11回 スペイン語圏の文化(5)
- 第12回 スペイン語圏の文化(6)
- 第13回 スペイン語圏の文化(7)
- 第14回 試験・ふりかえり
- その他 フィールドワーク、課題

【秋学期】

- 第1回 インTRODクシヨン
- 第2回 スペイン語圏の文化(7)

- 第3回 スペイン語圏の文化(8)
- 第4回 スペイン語圏の文化(9)
- 第5回 スペイン語圏の文化(10)
- 第6回 スペイン語圏の文化(11)
- 第7回 プレゼンテーション(3)
- 第8回 プレゼンテーション(4)
- 第9回 スペイン語圏の文化(12)
- 第10回 スペイン語圏の文化(13)
- 第11回 スペイン語圏の文化(14)
- 第12回 スペイン語圏の文化(15)
- 第13回 スペイン語圏の文化(16)
- 第14回 試験・ふりかえり
- その他 フィールドワーク、課題

成績評価方法:

試験、プレゼンテーション、課題や授業への参加度などで総合的に評価します。

テキスト(教科書):

“CULTURA EN EL MUNDO HISPANOHABLANTE (A2/B1). Nueva edicion 2018”enClave, 2018 ISBN:9788415299332

担当教員から履修者へのコメント:

・授業は対面を基本とし、オンラインによる授業回は各学期5回以下です。感染状況によりますが、初回授業は教室で行う予定です。その際にオンラインの授業回について等、皆さんと相談して決めたいと思います。適宜CANVASのアナウンスを使用して連絡しますので、チェックするようにしてください。

・授業では実際のニュースなどに触れていきますので、既に学習した基礎的な文法の復習をしておきましょう。また辞書を準備し、正しく引けるようになっておいてください。

質問・相談:

質問は授業前後やメール等で適宜受け付けます。メールアドレスは授業でお伝えします。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語からポルトガル語へ

春学期・秋学期: 水3

牧野 真也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ポルトガル語は、ポルトガルとその旧植民地であるブラジルやアンゴラ、モザンビークなどで公用語として話されており、全世界で2億3000万人以上の話し手を抱える大言語です。スペイン語やイタリア語・フランス語・ルーマニア語などと同じく、ローマ帝国の公用語であったラテン語を祖先としており、中でもスペイン語はポルトガル語に最も近い主要言語です。

本授業はすでにスペイン語の基礎を習得した学生を対象としており、スペイン語の知識をもとにしてポルトガル語の基礎を身につけることを目指しています。スペイン語を通じてポルトガル語を学ぶという形をとりますが、このことはまた、自らのスペイン語の知識を再確認することにもつながります。

スペイン語だけではなくポルトガル語にも挑戦してみたい、あるいはポルトガル語の学習を通じてスペイン語を再確認してみたいという熱意ある学生の受講を希望します。なお、この授業の履修者は、三田キャンパスでポルトガル語中級の授業を継続して履修することが可能です。

授業の計画:

以下の項目を学習する予定です。

【春学期】

1. インTRODクシヨン、文字と発音
2. 名詞の性と数
3. 冠詞、形容詞の性数変化と位置
4. 主語人称代名詞、直説法現在
5. serの直説法現在、estarの直説法現在
6. 疑問文と否定文、目的語人称代名詞
7. ter・haver・ir・vir・fazerの直説法現在
8. 所有詞、基数詞、不定代名詞・形容詞、疑問詞
9. 進行形、その他の不規則動詞の直説法現在

10. 再帰代名詞と再帰動詞
11. 直説法完全過去、時刻・日付の表現
12. 不規則動詞の直説法完全過去
13. 曜日・月・季節の表現
14. まとめ

その他 課題/オフィスアワー

【秋学期】

1. 過去分詞、受動文と結果構文
2. 直説法不完全過去、関係代名詞
3. 関係形容詞、関係副詞、比較級と最上級
4. 直説法現在完了、単人称動詞
5. 直説法未来、直説法未来完了
6. 縮小辞と増大辞、分数と倍数
7. 直説法過去未来、直説法過去未来完了
8. 不定詞と人称不定詞
9. 接続法現在
10. 接続法完全過去
11. 接続法不完全過去、接続法過去完了
12. 接続法未来、接続法未来完了
13. 仮定文
14. まとめ

その他 課題/オフィスアワー

成績評価方法:

「出席状況+授業参加+最終授業日のテスト」による評価です。

テキスト(教科書):

教員が用意し、PowerPointおよびPDF形式で配布します。

参考書:

辞書・参考書については初回授業で説明します。

担当教員から履修者へのコメント:

現時点では授業は対面とオンラインを交互に行う予定です。なお初回授業は対面です。

3回目の授業までに辞書などの単語を調べる手段を各自で用意する必要があります。初回授業でも説明を行いますが、以下は辞書の候補です。

- ① 池上峯夫他『現代ポルトガル語辞典 [3訂版] 和ポ付』白水社、2014年。
- ② 市之瀬敦他『プログレッシブ ポルトガル語辞典』小学館、2015年。
- ③ Larousse Concise Portuguese-English/English-Portuguese Dictionary. Larousse, 2010.
- ④ Collins Portuguese Concise Dictionary. Harper Collins Publishers, 2019.

日本語の辞書としては①②がお勧めです。葡英でもよければ③④もお勧めです。もっとも、学習に支障をきたさない限り、電子辞書やon-line辞書を含め、これ以外の辞書でも構いません。

質問・相談:

授業後もしくはe-mailで受け付けます。当方のアドレスは授業でお知らせします。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語の正確な理解を目指す
春学期・秋学期: 水4

牧野 真也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

1年時の学習だけでは、たとえ平易なスペイン語でも、その細部まで正確に理解することは至難の業です。この授業では、1年次に学習した内容を総復習しながら、新たな学習事項をも交えつつ、平易なスペイン語表現の正確な理解を目指します。

与えられたスペイン語の表現が正確に理解できているか否かは、学習のこの段階では、日本語訳で確認する以外はありません。したが

って、この授業では「スペイン語を正確に理解した上でそれをどのように日本語で表現すべきか」についても解説を行います。皆さんは日本語訳にも十分に意を配ってください。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回: 接続法
- 第2回: 接続法
- 第3回: 接続法
- 第4回: 接続法
- 第5回: 接続法・命令形
- 第6回: Lección2の学習
- 第7回: Lección2の学習
- 第8回: Lección3の学習
- 第9回: Lección3の学習
- 第10回: Lección4の学習
- 第11回: Lección4の学習
- 第12回: Lección5の学習
- 第13回: Lección5の学習
- 第14回: まとめ

その他 課題/オフィスアワー

【秋学期】

- 第1回: Lección6の学習
- 第2回: Lección6の学習
- 第3回: Lección7の学習
- 第4回: Lección7の学習
- 第5回: Lección8の学習
- 第6回: Lección8の学習
- 第7回: Lección9の学習
- 第8回: Lección9の学習
- 第9回: Lección10の学習
- 第10回: Lección10の学習
- 第11回: Lección11の学習
- 第12回: 文法補遺 (直説法点過去・線過去と直説法過去完了)
- 第13回: 文法補遺 (直説法未来・過去未来と直説法未来完了・過去未来完了)
- 第14回: まとめ

その他 課題/オフィスアワー

成績評価方法:

「出席状況+授業参加+最終授業日のテスト」による評価です。

テキスト(教科書):

・アルトゥーロ・パロン・ロペス 他『スペイン語で行こう! 新装改訂版』朝日出版社、2011年。ISBN: 978-4-255-55041-1

参考書:

- ・『現代スペイン語辞典』改訂版、白水社、1999年
- ・『クラウン 西和辞典』三省堂、2005年
- ・『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』小学館、2003年
- ・上田博人『スペイン語文法ハンドブック』研究社、2011年
- ・山田善郎他『中級スペイン文法』白水社、1995年

担当教員から履修者へのコメント:

現時点では授業は対面とオンラインを交互に行う予定です。なお初回授業は対面です。

質問・相談:

授業後もしくはe-mailで受け付けます。当方のアドレスは授業でお知らせします。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

ペルー人の先生とスペイン語を学ぼう
春学期・秋学期: 木5

ヤマシロ, リタ B.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、スペイン語でコミュニケーションをとることを目標にします。文法の復習をおこないつつ、スペイン語圏の文化に焦点を当てていきます。配布資料、ビデオ、聴覚教材を使ったさまざま

な教室活動をおこなう予定です。この授業を通じて、みなさんは、とりわけペルーの社会や文化をより深く知ることができるでしょう。

授業の計画:

Clase 『スペイン語第IV』春学期

1.º Presente de indicativo. Pronombres personales. Ejercicios.

文法練習(現在形・人称代名詞)

2.º "Descubre el Perú". Ejercicios de comprensión.

ビデオ(ペルー発見)と内容確認クイズ

3.º Pretérito imperfecto de indicativo. Ejercicios.

文法練習(線過去)

4.º Pretérito indefinido. Las influencias americanas en el español.

文法練習(点過去)、スペイン語に見られるアメリカの影響

5.º "La Fiesta del Sol".

ビデオ(太陽の祭り)

6.º Usos del pretérito indefinido e imperfecto. "Mis vacaciones en el Perú".

文法練習(二つの過去形)、ビデオ(ペルーで過ごす私の休日)

7.º Recapitulación y evaluación parcial.

まとめと前期試験

8.º Ejercicios de comprensión. "Historia del Perú".

読解と内容確認クイズ

9.º Futuro. Verbos ser y estar. Ejercicios.

文法練習(未来形・ser動詞とestar動詞)

10.º Condicional. Ejercicios de comprensión."Perú. Paraíso

Gastronómico".

ビデオ(グルメ天国ペルー)と内容確認クイズ、文法練習(条件文)

11.º Gerundios. Pasado perfecto. Ejercicios.

文法練習(現在分詞・現在完了)

12.º Usos del pasado perfecto.

文法練習(現在完了)

13.º Pasado pluscuamperfecto. "Los quipus". Ejercicios de comprensión.

文法練習(過去完了)、読解と内容確認クイズ。

14.ºまとめとふりかえり

その他 補講

Clase 『スペイン語第IV』秋学期

1.º Repaso. Imperativo. Ejercicios.

復習の練習.命令文。

2.º "La minería en el Perú". Lectura. Ejercicios de comprensión.

読解と内容確認クイズ

3.º Futuro perfecto de indicativo. Ejercicios de comprensión

(audio).

未来完了。聴解練習。

4.º Condicional compuesto. Ejercicios. "Usando el mapa del centro histórico de Lima".

過去未来完了。“リマの歴史地区の地図を使いながら”

5.º "La agricultura peruana" (lectura). Ejercicios de comprensión.

読解と内容確認クイズ

6.º "El Pisco, patrimonio cultural del Perú". Ejercicios de comprensión.

ビデオと内容確認クイズ

7.º Recapitulación y evaluación parcial. "Las artes en el Perú" (lectura).

まとめと前期試験

8.º Presente de subjuntivo. Ejercicios.

接続法現在。練習。

9.º "La quinua" (lectura). Ejercicios de comprensión.

読解と内容確認クイズ

10.º Pretérito imperfecto de subjuntivo. Ejercicios.

接続法過去。

11.º "La pesca peruana" (lectura). Ejercicios de comprensión.

読解と内容確認クイズ

12.º "Las tradiciones de Navidad y Año Nuevo". Ejercicios de comprensión.

読解と内容確認クイズ。

13.º "Tema de actualidad" (lectura). Ejercicios de comprensión.

読解と内容確認クイズ

14.ºまとめとふりかえり

その他 補講

成績評価方法:

出席、授業参加状況、課題提出、試験

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

パナマ人の先生とスペイン語を学ぼう

春学期・秋学期: 金1

ロドリゲス, ルベン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語で、口頭のコミュニケーションについて基本的な力を身につけることが本講義の目標です。今まで学んだスペイン語を使って、笑いながらラテンアメリカの文化を認識し、スペイン語で会話できるようになることを優先とします。積極的にコミュニケーションを取り、皆さんで気軽に参加し、楽しい授業にしましょう。

授業の計画:

【春学期】

Sesión 1: Introducción al español y explicación sobre el curso y sus objetivos.

Sesión 2: Latinoamérica, Hispanoamérica e Iberoamérica.

Sesión 3: Como hablar de costumbres y tradiciones.

Sesión 4: Marca país: ¿Qué es una marca país?

Sesión 5: Presentación 1

Sesión 6: Lectura comprensiva 1

Sesión 7: Lectura comprensiva 2

Sesión 8: Presentación 2

Sesión 9: Lectura comprensiva 3

Sesión 10: Lectura comprensiva 4

Sesión 11: Presentación 3

Sesión 12: Lectura comprensiva 5

Sesión 13: Lectura comprensiva 6

Sesión 14: Presentación de tema (individual)

Otros: Conclusiones y revisión de trabajos individuales.

【秋学期】

Sesión 1: Lectura comprensiva 1

Sesión 2: Lectura comprensiva 2

Sesión 3: Lectura comprensiva 3

Sesión 4: Presentación 1

Sesión 5: Lectura comprensiva 4

Sesión 6: Lectura comprensiva 5

Sesión 7: Presentación 2

Sesión 8: Lectura comprensiva 6

Sesión 9: Lectura comprensiva 7

Sesión 10: Lectura comprensiva 8

Sesión 11: Presentación 3

Sesión 12: Lectura comprensiva 9

Sesión 13: Lectura comprensiva 10

Sesión 14: Presentación individual.

Otros: Conclusiones y revisión de trabajos individuales.

成績評価方法:

平常点(出席状況および授業態度による評価) 30%

課題提出 30%

期末レポートとプレゼン 40%

テキスト(教科書):

特になし

参考書:

スペイン語能力に自信がない方は辞書と文法の本を持参すると良いでしょう。

担当教員から履修者へのコメント:

皆さんの負担にならないように、会話を中心とするスペイン語能力の発達を目的として、対面とオンラインで行われる予定です。現状では予定通りできるとは限らないので、授業の流れは皆さんと相談してから決めたいと思っています。すべてのアナウンスや課題提出は、CANVASで行われます。積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

パナマ人の先生とスペイン語で作文しよう
春学期・秋学期: 金2

ロドリゲス, ルベン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本講義ではスペイン語文章の読解と作成を中心とし、作文の総合力を高めることを目標とします。そのため、スペイン、およびラテンアメリカのニュース、本、雑誌等を読みながら、作文の基本を学びます。口頭コミュニケーションより、スペイン語で作文を練習しますが、笑いながらラテンアメリカの文化を認識し、授業できるようになることを優先とします。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回: Introducción a la redacción.
 - 第2回: Describe a ti mismo.
 - 第3回: Describe tus actividades diarias.
 - 第4回: ¿Cómo es tu vida universitaria? Escribe sobre tus clases.
 - 第5回: ¿Qué haces en tu tiempo libre? Escribe sobre tus pasatiempos.
 - 第6回: Historias de Latinoamérica.
 - 第7回: Personajes japoneses.
 - 第8回: Describe una persona que admiras.
 - 第9回: Japón: elige una prefectura.
 - 第10回: Cultura Japonesa
 - 第11回: Comida japonesa.
 - 第12回: Historias de Japón.
 - 第13回: ¿Qué harás en las vacaciones?
 - 第14回: Preparación para el reporte final.
- その他: レポート

【秋学期】

- 第1回: Hispanoamérica. Elige un país.
 - 第2回: Lectura y revisión de tema 1.
 - 第3回: Lectura y revisión de tema 2.
 - 第4回: Lectura y revisión de tema 3.
 - 第5回: Lectura y revisión de tema 4.
 - 第6回: Lectura y revisión de tema 5.
 - 第7回: Lectura y revisión de tema 6.
 - 第8回: Lectura y revisión de tema 7.
 - 第9回: Lectura y revisión de tema 8.
 - 第10回: Lectura y revisión de tema 9.
 - 第11回: Lectura y revisión de tema 10.
 - 第12回: Lectura y revisión de tema 11.
 - 第13回: Lectura y revisión de tema 12.
 - 第14回: Lectura y revisión de tema 13.
- その他: レポート

成績評価方法:

授業参加、ニュースの発表、期末レポートから総合的に評価します。

春学期

課題提出 60% (10回、1回6%)
期末レポート40%

秋学期

ニュース発表 30% (3回、1回10%)
課題提出 30% (3回、1回10%)
期末レポート 40%

テキスト(教科書):

特になし

参考書:

スペイン語能力に自信がない方は辞書と文法の本を持参すると良いでしょう。ただ、授業中の難しい文法には解説があります。

担当教員から履修者へのコメント:

皆さんの負担にならないように、作文を中心とするスペイン語能力の発達を目的として、対面とオンラインで行われる予定です。現状では予定通りできるとは限らないので、授業の流れは皆さんと相談してから決めたいと思っています。ある程度のスペイン語能力と積極的な参加が不可欠です。春学期は、毎週の課題提出や文章予習を前提とし授業を行います。秋学期は、期末レポート(スペイン語)の作成を前提として授業を進めます。すべてのアナウンスや課題提出はCANVASで行われます。スペイン語のみならず、今後の大学生活に役立つ作文のスキルを身につけたい方、ぜひ参加してください。初回授業は対面で行われる予定です。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語圏の歴史と社会、スペイン語文法・会話
春学期: 金4

和田 杏子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

メキシコ植民地時代史を専門とする講師とともに、スペイン語に特徴的な文法事項(再帰構文、無人称文、点過去/線過去、接続法)を学びつつ、スペイン語圏の歴史と社会に関する理解を深めていく授業です。語学面では、文法演習やグループ演習を通して「話す・聞く・読む・書く」の力をバランスよくつけることを目指します。教養面では、テキストのコラムに関連する情報を映像等で補完しつつ、スペイン語圏の多様な価値観や常識的な事柄に触れていきます。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 インTRODクシヨン、一年次の復習
 - 第2回 接続法導入(命令法)一補助教材使用
 - 第3回 接続法現在一補助教材使用
 - 第4回 接続法過去一補助教材使用
 - 第5回 接続法現在完了、過去完了一補助教材使用
 - 第6回 条件文(現実/非現実)一補助教材使用
 - 第7回 第1課 再帰動詞、関係代名詞一解説、ダイアローグ
 - 第8回 第2課 点過去、線過去一問題演習、会話演習
 - 第9回 第3課 現在完了、過去完了一解説、ダイアローグ、問題演習
 - 第10回 第4課 未来、過去未来一解説、ダイアローグ
 - 第11回 第4課 未来、過去未来一問題演習、会話演習
 - 第12回 第5課 未来完了、過去未来完了、関係詞一解説、ダイアローグ
 - 第13回 第5課 未来完了、過去未来完了、関係詞一問題演習、会話演習
 - 第14回 期末試験とまとめ
- その他 毎週の課題

成績評価方法:

出席、授業態度、課題、試験の達成度から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

『プラサ・アミーゴス ―スペイン語で話そう III―』青砥清一ほか著、朝日出版社、2013年
ISBN:978-4-255-55060-2 C1087

参考書:

『スペイン語 文法と実践』小林一宏他著、朝日出版社、2009年
ISBN:978-4-255-00467-9 C0087

(自学自習用の推薦図書です。欲しい人だけ入手してください)

担当教員から履修者へのコメント:

- ・原則として、対面形式で行われます。
- ・毎回予習(知らない単語は調べて、疑問点を明らかにしておく)をした上で授業に臨み、指示された課題は忘れずにやってきてください。
- ・辞書を毎回必ず持参してください。
- ・コロナ禍の影響により、前年度に入らなかった文法項目「接続法」の学習から始めていきます。

質問・相談:

授業の際に随時受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語圏の歴史と社会、スペイン語文法・会話
秋学期：金4

和田 杏子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

メキシコ植民地時代史を専門とする講師とともに、スペイン語に特徴的な文法事項(特に接続法と条件文)を学びつつ、スペイン語圏の歴史と社会に関する理解を深めていく授業です。語学面では、文法演習やグループ演習を通して「話す・聞く・読む・書く」の力をバランスよくつけることを目指します。教養面では、テキストのコラムに関連する情報を映像等で補完しつつ、スペイン語圏の多様な価値観や常識的な事柄に触れていきます。

授業の計画:

【秋学期】

- 第1回 第6課 接続法現在—ダイアログ、問題演習、会話演習
 - 第2回 第7課 接続法現在(不規則動詞)一解説、ダイアログ
 - 第3回 第7課 接続法現在(不規則動詞)一問題演習、会話演習
 - 第4回 第8課 接続法現在(副詞節、独立文)一解説、ダイアログ
 - 第5回 第8課 接続法現在(副詞節、独立文)一問題演習、会話演習
 - 第6回 第9課 接続法現在(形容詞節、命令)一解説、ダイアログ
 - 第7回 第9課 接続法現在(形容詞節、命令)一問題演習、会話演習
 - 第8回 第10課 接続法過去—解説、ダイアログ
 - 第9回 第10課 接続法過去—問題演習、会話演習
 - 第10回 第11課 接続法現在完了、過去完了—解説、ダイアログ
 - 第11回 第11課 接続法現在完了、過去完了—問題演習、会話演習
 - 第12回 第12課 非現実的条件文—解説、ダイアログ
 - 第13回 第12課 非現実的条件文—問題演習、会話演習
 - 第14回 期末試験とまとめ
- その他 毎週の課題

成績評価方法:

出席、授業態度、課題、試験の達成度から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

『ブラサ・アミーゴス —スペイン語で話そう III—』青砥清一ほか著、朝日出版社、2013年
ISBN:978-4-255-55060-2 C1087

参考書:

『スペイン語 文法と実践』小林一宏他著、朝日出版社、2009年
ISBN:978-4-255-00467-9 C1087
(自学自習用の推薦図書です。欲しい人だけ入手してください)

担当教員から履修者へのコメント:

- ・原則として、対面形式で行われます。
- ・毎回予習(知らない単語は調べて、疑問点を明らかにしておく)をした上で授業に臨み、指示された課題は忘れずにやってください。
- ・辞書を毎回必ず持参してください。

質問・相談:

授業の際に随時受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

メキシコの歴史・文化
春学期・秋学期：水3

渡辺 裕木

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語でより高度なコミュニケーションができることを目指し、語彙力、読解力および作文技術の向上を目指します。

授業では、メキシコ合衆国の歴史や現在のメキシコ文化についてスペイン語で書かれた新聞や雑誌の記事などを講読し、現在のメキシコ文化や、メキシコの人々への理解を深めます。

また作文練習の為にテキストなどを使い、これまでに学習した基本文法を使った表現を復習します。

授業の計画:

春学期

- 第1回 イントロダクション
 - 第2回 メキシコの歴史(概説)、接続法・命令法①(接続法現在)
 - 第3回 作文の練習(教科書第1-3課)、接続法・命令法②(接続法現在)
 - 第4回 先スペイン期の絵画:接続法・命令法③(接続法現在)
 - 第5回 作文の練習(教科書第4課)、接続法・命令法④(接続法過去)
 - 第6回 作文の練習(教科書第5課)、接続法・命令法⑤(接続法過去)
 - 第7回 学期末レポート中間発表
 - 第8回 コロニアル期の絵画①、接続法・命令法⑥(接続法過去)
 - 第9回 作文の練習(教科書第6課)、接続法・命令法⑦(命令法)
 - 第10回 作文の練習(教科書第7課)、接続法・命令法⑧(命令法)
 - 第11回 作文の練習(教科書第8課)
 - 第12回 作文の練習(教科書第9-10課)
 - 第13回 作文の練習(教科書第11課)
 - 第14回 履修生による学期末レポート発表会
- その他 まとめとふりかえり

秋学期

- 第1回 イントロダクション
 - 第2回 メキシコの歴史(概説)と春学期学習内容のふりかえり
 - 第3回 作文の練習(教科書第11-12課)
 - 第4回 コロニアル期の絵画②
 - 第5回 作文の練習(教科書第13課)
 - 第6回 独立戦争期と19世紀初期の絵画
 - 第7回 学期末レポート中間発表
 - 第8回 作文の練習(教科書第14課)
 - 第9回 壁画運動(20世紀初期)
 - 第10回 作文の練習(教科書第15課)
 - 第11回 作文の練習(教科書第16-17課)
 - 第12回 作文の練習(教科書第18課)
 - 第13回 作文の練習(教科書第19課)
 - 第14回 履修生による学期末レポート発表会
- その他 まとめとふりかえり

成績評価方法:

接続法および命令法の理解度の確認を目的とした期末試験を実施する。

また、受講生は各授業で告知されるスペイン語作文の宿題(指定の教科書を使用)と、学期末レポートを提出する。

テキスト(教科書):

『表現のためのスペイン語作文』木越勉/古川亜矢著 朝日出版社
2017年
ISBN: 978-4-255-55086-2

参考書:

『メキシコを知るための60章』吉田栄人編 明石書店 2005年
ISBN: 978-4-7503-2030-4
『メソアメリカを知るための58章』井上幸孝編 明石書店 2014年
ISBN: 978-4-7503-4009-8
『メキシコの歴史 メキシコ大学院大学編』D.C. ビリエガス他著
村江四郎訳 新潮社 1978年
ASIN: B000J8QQGU

担当教員から履修者へのコメント:

本科目の授業は、オンデマンドと対面式を併用します。詳細は初回授業内で説明した上で、Canvasを通じて周知します。なお初回の授業はオンラインで実施します。

本科目の学習には辞書(電子辞書、紙媒体の辞書)を使用し、通信機能のある端末(携帯電話、パソコン、タブレットなど)は使わないでください。「授業の計画」の内容に関しては、履修生の関心や理解度に応じて、使用するテキストの内容や、接続法の学習の進め方を変えることがあります(接続法過去と命令法を、秋学期に学習する可能性有)。